

住民参加型成人歯科保健推進モデル事業 報告書

は～もに～ぷろじえくと



Workshop on Dental Health
IN NIIGATA

平成16年3月
特定非営利活動法人 まちづくり学校

そもそも「は～もに～ぶろじえくと」はどのようなことから始まったか

まちづくり学校 小崎 弘一

東京歯科大学歯科学研究室の石井氏は高校時代の1年後輩、家内の中学同級生という関係がまずあります。「歯科医療と住民参加」について考えている、ついでには「住民参加」について具体の事例を紹介して欲しいという依頼がありました。いまいちピンとこないまま平成15年2月22日、研究集会に臨みました。ひとりでは大変なので「都岐沙羅」でがんばっている村上の大滝さんにも声を掛けました。会場には歯科医師、保険師、歯科衛生士、研究者、行政といった具合に、歯科医療に関わる多くの方々が参加しておられました。

私は「まちづくりにおける住民参加の取り組みについて」お話しし、大滝さんは「NPO法人都岐沙羅パートナーズセンターの住民参加支援活動について」話しました。13:00に始まり、意見交換が終わったのは21:00、長いが充実した一日でした。そこでは私たちの日頃の活動が注目を集めました。「8020運動」に住民参加のノウハウを活用できないか、歯科検診の輪をもっと広めることはできないか、それについて協力してもらえないか。集会の最後には「どのような形で学校が参加できるか具体的に検討しましょう」というところまで一気に行ってしまいました。

その後打合わせを重ねる中で、歯科医療担当者と市民をどう結びつけるか、歯科医療担当者が「待っているから出て行く」状況をどう作るか、が大きなポイントとして浮かび上がってきました。担当の方々の熱心な参加がこの「ぶろじえくと」を支えてきました。

1. これまでの経緯

1) モデル事業立ち上げに至るまでの背景

- ・15年2月に開催された歯科医師会主催の会合で、NPO法人まちづくり学校の活動内容が紹介される。
- ・新潟県における成人歯科保健促進を目的としたモデル事業の実施を計画（8020財団の助成を申請）。
- ・モデル事業は住民参加型で行うこととし、NPO法人まちづくり学校との協働事業とする。
- ・歯科医療関係者、NPO双方の共通認識を得るために、まずは学習会を開催する運びとなった。

2) 勉強会の開催

- ・モデル事業立ち上げに向け、日本歯科医師会、新潟県歯科医師会、新潟市歯科医師会、新潟県福祉保険部、新潟市保健所、新潟大学歯学部口腔保健推進学分野、NPO法人まちづくり学校の関係者が参加する勉強会を立ち上げた。
- ・勉強会は3回開催し、モデル事業の方向性・進め方を確認した。

※勉強会を進めるにあたっては、ファシリテーターによる進行、ファシリテーショングラフィックによる記録、会議レイアウトの工夫、未来デザイン考程による検討など、まちづくり学校が有しているノウハウを駆使して行った。（別添資料参照）

第1回勉強会

日時：平成15年7月2日（水）

19:30～21:30

場所：新潟大学歯学部

（議論の内容）

- ・事業趣旨の説明
- ・成人歯科保健の現状説明
- ・成人歯科保健に関する意見交換（その1）

第2回勉強会

日時：平成15年7月23日（水）

19:30～21:30

場所：新潟大学歯学部

（議論の内容）

- ・成人歯科保健に関する意見交換（その2）

第3回勉強会

日時：平成15年8月25日（月）

19:30～21:30

場所：新潟大学歯学部

（議論の内容）

- ・モデル事業の内容・進め方について

第4回勉強会

日時：平成15年9月12日（金）

19:30～21:30

場所：新潟大学歯学部

（議論の内容）

- ・モデル事業の内容・進め方について

3) 実行委員会の立ち上げ

- ・勉強会出席者を中心に、新潟大学歯学部口腔保健推進学分野とNPOまちづくり学校が事務局となった実行委員会を15年10月に立ち上げた。
- ・実行委員会メンバーは以下のとおり。（敬称略、順不同）

池主（日本歯科医師会地域保険委員長）

佐藤（新潟県歯科医師会）

岡田、荒井（新潟市歯科医師会）

藤原、大内、片岡、濃野（新潟大学歯学部）

金井、坪谷（（社）新潟青年会議所）

小嶋、斎藤、和田、堀、伊野、宮崎、阿宮、小見
（NPO法人まちづくり学校）

- ・実行委員会では、モデル事業の名称や具体的な内容の検討、事業の実施を行うこととなった。

第1回実行委員会

日時：平成15年9月29日（月）

19:00～21:00

場所：新潟大学歯学部

（議論の内容）

- ・実行委員会の人選
- ・今後の進め方

第2回実行委員会

日時：平成15年10月15日（水）

19:00～21:30

場所：新潟大学歯学部

（議論の内容）

- ・インタビュースキル等に関する学習会の開催について
- ・具体事業の内容について
- ・役割分担

第3回実行委員会

日時：平成15年12月5日（金）
19：30～21：30
場所：新潟大学歯学部

（議論の内容）
・各事業についての検討
・インタビューの実施状況の確認

第4回実行委員会

日時：平成16年1月21日（水）
18：30～20：00
場所：新潟大学歯学部

（議論の内容）
・各事業の進捗状況の確認

第5回実行委員会

日時：平成16年3月17日（木）
18：30～21：30
場所：新潟大学歯学部

（議論の内容）
・各事業の実施報告、事業評価
・行動計画への意見出し

4) インタビュースキル等の学習会

・実行委員会メンバーのインタビュースキル向上、インタビュー内容のまとめ方習得などを目的に、まちづくり学校メンバーが講師となって、学習会を2回開催した。

第1回学習会

日時：平成15年10月28日（火） 18：30～21：30
場所：新潟大学歯学部
内容：ワークショップによる演習（インタビューゲーム）

第2回勉強会

日時：平成15年11月10日（月） 18：30～21：30
場所：新潟大学歯学部
内容：ワークショップによる演習（マーケティングゲーム）

2. モデル事業の位置づけ・具体的な事業内容

1) モデル事業の方向性

・勉強会での議論から、本モデル事業における「住民参加」の位置づけとその目的は以下のように設定された。

■勉強会で出された意見のポイント

モデル事業における住民参加とは...

「出会いの場」をつくること

（第1回勉強会での共通認識）

・世間一般的に成人歯科保健に対する認識が低い。
・歯科医療関係者と住民との間に意識（認識）のギャップがある。（第2回勉強会での共通認識）

・成人歯科健診の受診率向上のためには、受診対象者の意識（ニーズ）を探ることが必要。
・受診対象者の意識の向上が不可欠。

「出会いの場」の目的は...

○住民ニーズを把握する
○成人歯科保健に対する意識向上のきっかけをつくる

（第2回勉強会での共通認識）

→ NPOまちづくり学校側で企画案を検討し提案する

※まちづくり学校側の意見・感想

・「歯科医療」「健康」などといったテーマで、「場」の設定をしても、人々は感心を示さない。
・人々の関心が集まるテーマ（例えば「食」）を設定し、そこに成人歯科保健に関する「場」を設定すべき。

・住民と歯科医療関係者とのコミュニケーションの場が不足している。（そのような場はこれまであまり設けられていない）

・マイナス面を強調してPRするのではなく、プラス効果（快感性等）を強調したPRも必要。
・ワンストップサービス（企業の健康診断と一緒に歯科健診も行うなど）のニーズは非常に高いのではないかと
→ ・顧客満足（CS）という意識を持ったサービスの展開を歯科医師側も持っても良いのではないかと

・参加して楽しいと思えるような「場」の設定が重要。
・「わざわざ来てもらう」ではなく「ついでに寄ってもらう」という考え方で、「場づくり」の検討も必要。

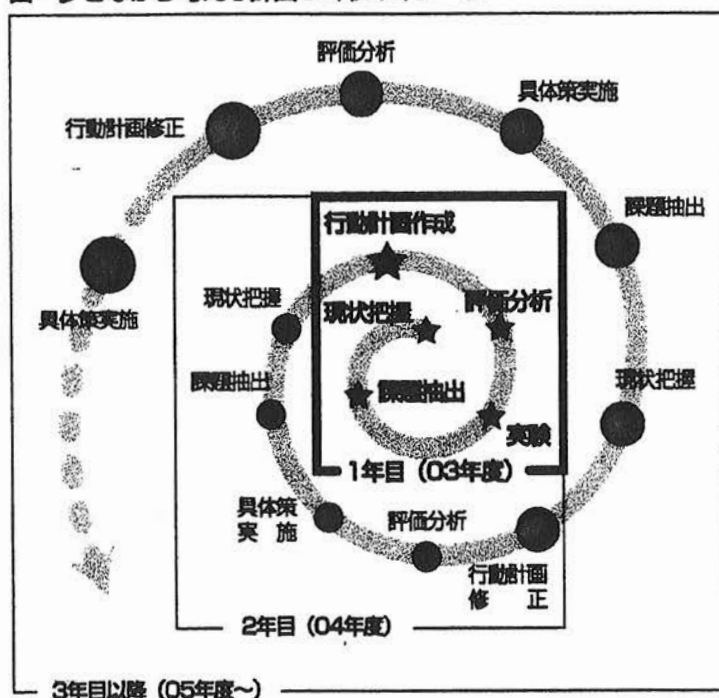
・歯科医療関係者同士の意見交換の場は十分に設けられているか？
→ ・関係者同士（歯科医師、保健士、栄養士など）の意見交換の場をつくることも必要ではないかと

2) モデル事業の目標・基本的な考え方

達成目標 8020の理念実現に向け、成人歯科保健の推進のための行動計画を作成する。

- ・アクションリサーチにより、行動計画を作成していく。
- ・以下のプロセスを繰り返し行うことで、より実効性のあるものへと計画を育てていく。(歩きながら考える計画づくり)

図-歩きながら考える計画づくりのイメージ



3) アクションリサーチ (実験プロジェクト) の具体的な内容

- ・行動計画を作成する上での基礎データを、以下の5つの方策から収集する。

① 歯科保健関係者・一般市民へのインタビューの実施

- ・歯科保健関係者（歯科医師、保健師、栄養師等）へ歯科保健に現状や意識等をインタビューする。
- ・一般市民へ歯科に対する意識やイメージ等をインタビューする。

▶ 専門家と市民の双方が抱いている歯科保健への意識等を把握する

② 市民と歯科保健関係者との意見交換会の開催

- ・歯科保健関係者と市民とが一堂に会し、ワークショップ形式で意見交換を行う。

▶ 歯科関係者と市民との意識のギャップを明確化する
▶ 意見交換から生まれる新たな方向性の抽出

③ いがた食の陣における実験イベントの開催

- ・食という切り口から、歯科保健をPRする催しを開催する。
- ・来場者から歯科に関する意識・意見に関するデータを収集する。

▶ 食という身近な話題を通じて歯科に対する市民の本音を把握する

④ JCメンバー健診（実験実施）& 意見交換会の実施

- ・成人歯科健診の受診率向上の一の方策として、歯科健診を受診する一つのきっかけを提供する。

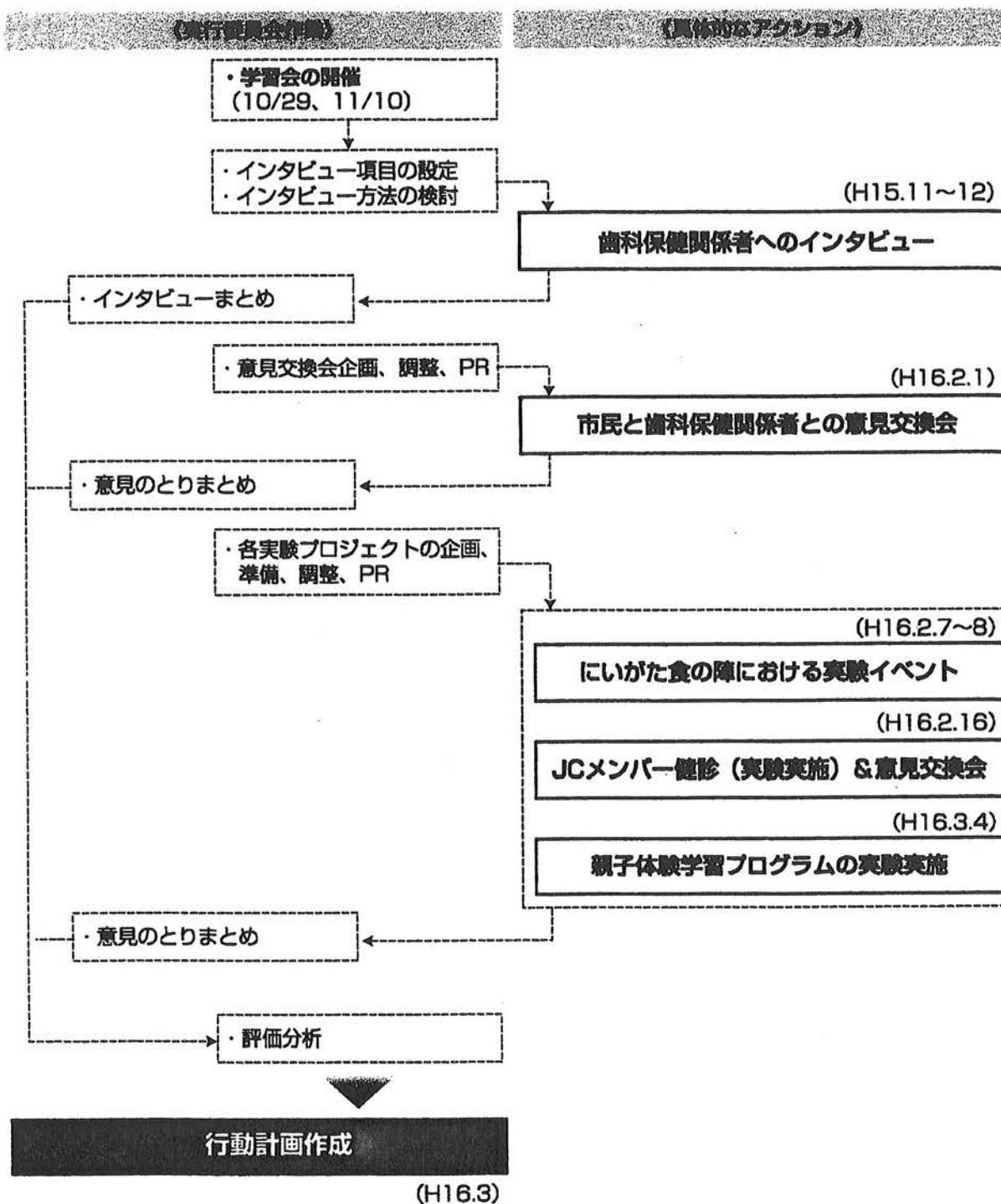
▶ 実験的な施策の実施
▶ 成人の歯科に対する意識の把握

⑤ 親子体験学習プログラムの実験実施

- ・親子で楽しみながら歯のことを考えるきっかけづくりとして、実験的に体験学習プログラムを実施する。

▶ 親子をターゲットにした啓発プログラムの実験実施

4) モデル事業全体の進め方



健康でいられる社会づくりをしたい

- 健康が中心的なテーマとなる地域をつくりたい
- 地域（県民）の健康づくりへの寄与
- 健康をちょっと考えるだけで健康でいられる社会にしたい

住民・歯科医療関係・行政 → 協働社会

- 住民と歯科医療関係者と行政と協働する社会

年に1回は 意見交換を！

- 年に1回は歯科医師と気候に臨める社会にしたい

口腔の健康を 考える人を増やしたい

- 口腔の健康の重要性に気づいて行動する人を増やしたい
- 口腔の健康について安心できる人を増やしたい (WILL)
- 快的な口腔状態を実感する人を増やしたい (WILL)
- 口腔の健康を保つ力を身につける人を増やしたい (SKILL)

健康を支援する (長い) 社会システムをつくりたい

- 長年にわたり、歯診療業が頼りくような支援システムを構築出来れば！
- 健康な生涯を実現できる人を支援する社会にしたい
- 健康になりたいと思う人を適切に支援するまちづくり
- 自分の健康を守ってくれる社会にしてほしい
- 健康についていつでも相談できる社会にしたい
- 健康になりたくなくという人をささえるまちづくり

--- 歯科医の社会的な役割を明確化したい ---

- 歯科医師（会）としてもっと社会の役に立てようになりたい
- 少しでも歯科医（歯科）のイメージを良くしたい
- 歯科医が健康の支援者であるという認識を広めたい

子どもと一緒に

- 子どもと楽しく過ごせる人をふやしたい
- 子どもと一緒に遊びにいける場所をふやしたい

健康について語り合いたい

- 健康について話し合うことが楽しくなるような社会にしたい

健康の自立

- 自分の健康は自分である程度つくられる社会にしたい

入れ歯がなく

- まずは入れ歯のない社会にしたい

評価される

- もっと健康であることが評価される社会にしたい

- あまり、ケズツタリ抜いたりしないで生活を維持できる環境を作りたい

- おいしいごはんをつくれる人をふやしたい

- できるだけ長くおいしいものを食べていける人生を支援したい

次世代へも伝える 歯科保健システムづくり をしたい

- この専業後も次の世代へひきまわられるような内容で歯科保健につなげたい
- 歯科保健が生活習慣になる
- 健康づくりが親から子供につたわる社会にしたい
- 住居の整備を向上させたい（意識のギャップをうめる）

新潟からの日本をリードする モデルを！

- 本事業をとおして新潟発信により日本をリードできるとうれしい

トータルプロセスデザイン

- **地区** 新潟市を対象地区として実施。
※ただし、規模が大きいため場合によっては校区等の地域を限定して実施する可能性もある。
- **テーマ** 住民活動支援組織 (NPO) との協働による住民参加型成人歯科保健推進

テーマ設定の背景

住民参加による8020の里づくりを進めることを最終的な目標とするが、その中でも働き盛りの青壮年層 (30代40代) を対象とした成人保健事業は従来型の保健事業の弱点ともなっており、実効ある方法論を思いだせずにいる。そうしたことから、今回のモデル事業においては成人歯科保健の向上を目指した取り組みを行う運びとなった。

実施予定期間

平成15年度かつ平成16年度

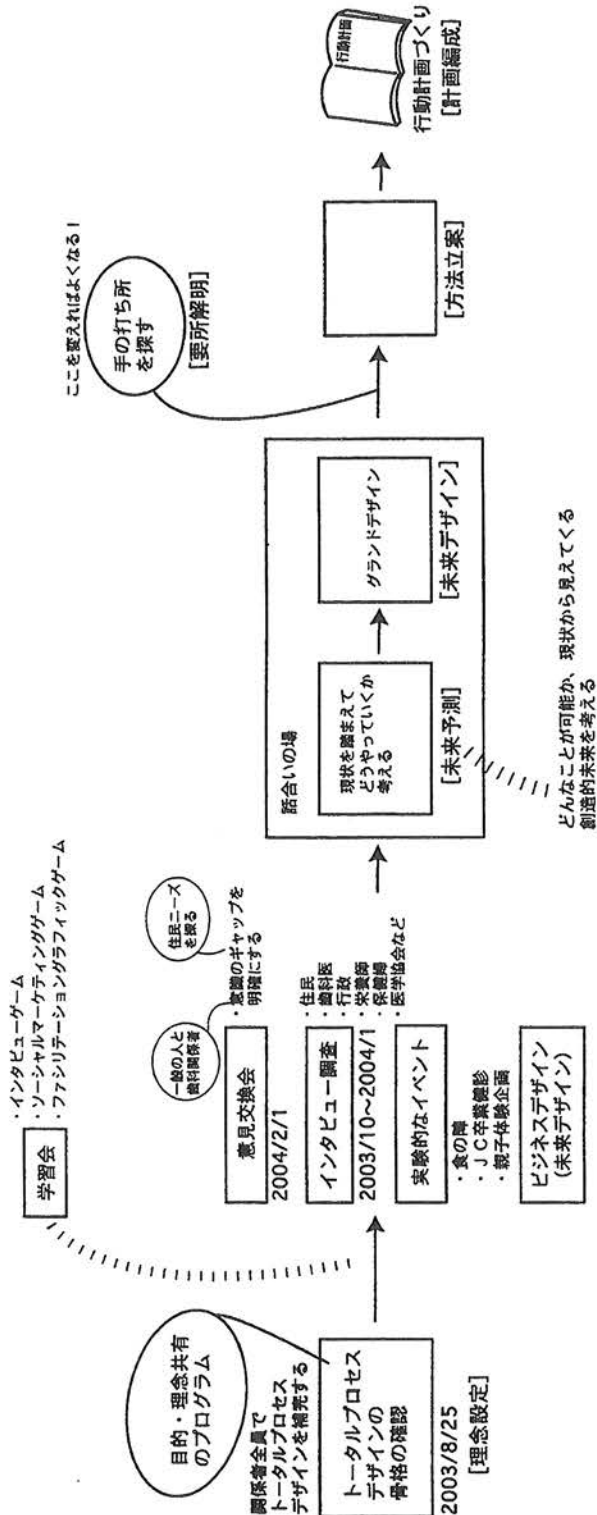
基軸デザイン

- 達成する具体的目標 (成果) は?
成人歯科保健向上を目標とする。
モデル事業としては成人歯科健診受診率の向上
- 成果のあらわし方は?
outputとして「住民も含めた関係者が今後具体的にどう取り組んでいくか」についての行動計画を策定する
- 制約条件や「参加の場」の運営における注意点は?

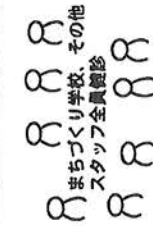
組織デザイン

- 中心となる参加者は? (誰が参加するの)
 - ・ 一般の人たち
 - ・ 歯科保健関係者
- 「参加の場」は誰が運営するの?
 - ・ 関係者からなる実行委員会
 - 支援組織として
 - ・ NPO法人まちづくり学校
- 協力者・協力団体は? どんな協力が得られるの?
 - ・ 日本歯科医師会
 - ・ 新潟県歯科医師会
 - ・ 新潟市歯科医師会
 - ・ 県庁健康対策課
 - ・ 新潟市保健所
 - ・ 新潟大学歯学部予防歯科
 - ・ 新潟大学歯学部加齢歯科
 - ・ 東京歯科大学社会歯科学
 - ・ 青年会講師
 - ・ 新潟県労働衛生医学協会 など

プロセスデザイン



現状把握



1年目

2年目

住民参加型成人歯科保健推進のための行動計画（骨子）

【基本的な考え方】

- ①歯に関する市民の意識は決して低くはない
 - ・本事業で実施した実証プロジェクトから、「決して市民は歯に無関心な訳ではない」という潜在的な市民意識を把握することができた。そして、歯科保健推進の障害となっていたのは、「情報の伝達方法」であることが、おぼろげながら見えてきた。
 - ・今後の歯科保健推進にあたっては、この「情報伝達」が重要なポイントとして展開していくことが必要である。
- ②市民参加によって成果を残すには一定の時間を掛けることが必要
 - ・市民参加によって劇的に状況が変化するわけではない。市民参加は、結果だけでなくプロセスも重視するという点から、それなりに時間がかかるという認識が必要である。市民参加は、即効性のある特効薬ではなく、じわじわと効いてくる漢方薬であるという認識を持つことが必要である。
- ③市民参加とは「専門家も参加する」ということ
 - ・市民参加を推進するにあたっては、市民と同様に「専門家も参加する」という専門家の認識が不可欠である。歯科保健推進という目的の中で、お互いに歩み寄りながら、色々な考え・意見を共有できる場を設定していくということが重要である。

【基本方針】

1. 情報の伝え方を見直す

- ①専門家の情報伝達技術を向上させる
 - ・現在行っている情報伝達の仕組み・方法を根本的に見直し、市民へ「どのように情報を伝えていくか」を改めて再構築していくために、専門家の情報伝達技術を向上させる取り組みを積極的に展開していく。

【具体的な展開例】

- ・専門家（歯科関係者）向けの情報収集・伝達技術に関する研修会の実施
- ・歯科保健以外の分野で開催されるイベントへの積極的な参加

②市民へは「市民の言葉」で情報を伝える

- ・歯科保健に関する情報は、専門家の視点・言葉で発信していくのではなく、「市民の視点から」「市民の言葉を使って」発信していくようにする。
- ・そのために、市民の意識・関心などを把握し、場面に応じた情報発信をしていけるよう、マーケティング等の視点から、意向把握を行っていく。

【具体的な展開例】

- ・ワークショップ等の手法を用いた意見交換会の実施
- ・市民ニーズに合わせた情報発信・普及啓発活動の方法の検討

③専門家間での情報共有の促進

- ・歯科保健に関係する各主体（歯科医師会、行政、企業、関係団体等）間で行われている情報を、これまで以上に共有できるような機会を積極的に設けていく。
- ・特に企業の協力（試供品などの供与等）を受け取る際は、企画書の事前提出、実施報告を行うようにし、関係者間の情報共有を積極的に図っていく。

【具体的な展開例】

- ・協力依頼の際の事前説明（企画書提出等）及び実施報告の徹底
- ・各種取り組みの報告会の実施

2. 情報をつなぐ仕組みをつくる

- ①専門家と市民をつなぐための仕組み・受け皿づくり
 - ・今後の歯科保健推進にあたっては、専門家だけでなく、各種市民組織・学校・企業等、様々な分野と連携しながら取り組んでいくことが重要である。
 - ・そのために、多様な市民と専門家をつなぐための仕組みとその受け皿となる組織づくりを進めていく。

【具体的な展開例】

- ・歯科衛生師の人たちの組織化（つなぐための受け皿組織の育成）
- ・つなぐためのノウハウの蓄積

②多様な組織・団体との連携を促す場づくり

- ・現状では、専門家（歯科関係者）と異分野の人たちが、直接交流する機会はほとんど設けられていない。
- ・そのため、様々な組織・団体と交流するきっかけを積極的に設けるようにし、協力して歯科保健の推進を展開できるような土壌づくりに取り組んでいく。

【具体的な展開例】

- ・専門家と様々な分野の個人・団体とが連携していく機会を積極的に設ける
- ・他分野の団体が主催するイベント等への積極的な参加

【各主体の役割】

①専門家（歯科関係者）

- ・情報伝達技術の向上
- ・他団体との交流機会を積極的に創出していく
- ・様々なイベント・会合等に積極的に参加する

- ⇒情報伝達技術に関する講座の開催・参加
- ⇒交流会等を自主的に開催する
- ⇒専門家間の積極的な参加、人の派遣

②歯科衛生士

- ・歯科衛生師の組織化
- ・つなぐための情報・ノウハウの蓄積

- ⇒歯科衛生師同士の横の連携をつくる
- ⇒コーディネーターとしてのノウハウの蓄積

③NPO

- ・情報伝達技術等のノウハウ提供
- ・異業種交流を進めるための仲介・支援
- ・交流の意向を持っている市民団体の発掘・参加要請

- ⇒ノウハウ提供の講座を開催する
- ⇒異業種交流のコーディネーター役
- ⇒市民と専門家を結びコーディネーター役

④市民・市民組織

- ・専門家との交流機会への積極的な参加
- ・専門家側へ市民の意向を伝える

- ⇒交流機会への積極的な参加
- ⇒意見を伝える

⑤行政

- ・広報、PR手段や広報内容の見直し

- ⇒市民の関心を惹くような広報手段・内容の検討（市民参加による検討）

学習会

- 第1回 「インタビューゲーム」
平成15年10月28日(火)
- 第2回 「マーケティングゲーム」
平成15年11月10日(月)

インタビュゲームは まちづくりコーディネーター、 ファシリテーターの コミュニケーション技術を磨く 必須訓練。

相互情報生産、相互編集の基本技術を、体験を通して学ぶ。

まちづくりの現場で多様な人々が集まりながら一つの計画をつくっていくときに大切なインタビュ技術を学びました。落としどころを決めず、ひたすら聞くことの大切さなど、インタビュするときの大切な態度などを確認することができました。

テキストは、兼面創造化プログラム（特選堂・えにし版）を使い、研修会を開きました。

二人一組になり、お互いインタビュし合い、その内容をB6カードに編集して書き上げ、発表し合うというシミュレーションゲームです。ゲームですから、ルールがあります。

●何を聞いてもいい（聞く自由）

●答えたくないことは答えなくていい（答えない自由）

●聞かれたことでも話していい（話す自由）

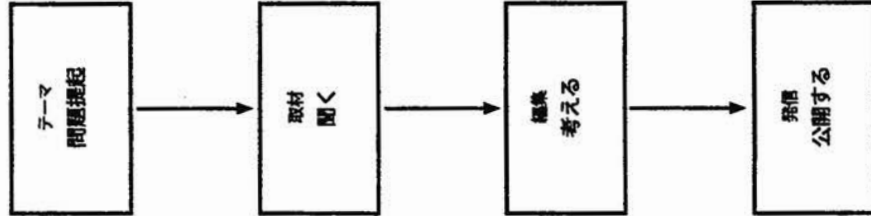
このルールは、セルフラーニング研究所の平井雷太さんが考案されたものです。中に入っているというインタビュが大切なので、縛るルールから解放するルールへと転換しています。

そして、注意する点としては、インタビュアはひたすら聞くことに徹することとメモをとるということを確認し合います。特にひたすら聞けない場合が多く、聞き手がしゃべってしまうことがよくあるので、ここは特に注意を促します。

最初のインタビュは、特にテーマを設定せずに行いました。10分インタビュした後、交代して10分インタビュを行いました。B6カードにそのインタビュ内容を編集して書くのですが、書き方のフォーマットを共通に行いました。

最初のインタビュ後、ふりかえりを行いました。相互にインタビュするときの難しさ、ポイントなどについて意見交換し、再度インタビュし合います。二度目のインタビュは、各自テーマを設定して行いました。

テーマを設定し、それに基づいて取材し、編集し、発信するという情報生産の流れをひとまとめにしながら体験し、学び合ったわけです。成果にも新しい発見があり、このプロジェクトの基礎固めができました。



インタビュゲーム感想 1 回目

2003.10.28 はーもにー研修会

- ・まとめの文章が的確でおもしろかった
- ・機動的な相づちで、相手と同調していく過程が大切「そうですね」
- ・まずは、相手を知ることから始めた
- ・次に何を聞くかが問題
- ・難しくなかった
- ・まっさらで聞くって、どこに流れていくか心配
- ・質問するのは難しかった
- ・ある程度時間がないと深く聞けない！10分は短い

インタビュゲーム感想 2 回目

2003.10.28 はーもにー研修会

- ・トレーニングしないとぎつ
- ・くり返すことでコツをつかめる
- ・引き出し方としてこれでいいの？と不安になった
- ・本当に本音が聞けているのか心配で、語を戻したりして苦心した
- ・聞くことを1つにしよった
- ・目的を決めた
- ・キーワードにこだわった
- ・こだわらずぎで流れを止めてしまった
- ・質問するときにまとめることを考えていなかった
- ・場や相手を信頼する
- ・ひたすら聞くことなんだ
- ・聞きたいことを聞くには短かった
- ・15分、意外と聞けなかった
- ・うまく持つて行かれた、誘導された
- ・落としどころを決めずに、真っ白にして聞く
- ・相手と同調できた



マーケティングゲーム インタビュアーから 潜在的なニーズを 浮き彫りにし、 共有します。

相互情報生産、相互編集の基本技術を、体験を通して学ぶ。

インタビュアーの内容をより実りの多いものにするために、簡易情報集約シートを使って全員が同じフォーマットで共有できること、インタビュアー内容から新たな情報が生まれるように、主に簡易情報集約シートの使い方について研修を行いました。

インタビュアーゲームと同じくマーケティングゲームも、集団創造プログラム (博通盛・えにし版) をナキキストに研修を行いました。

通常であれば、テーマを設定し、インタビュアーすることから始まりますが、インタビュアーゲームで集められた素材を使って簡易情報集約シートに編集し、記録することを個人作業で行い、そこから潜在的なニーズをグループで検討し合う形をとりました。

まずは、インタビュアーゲームの成果内容をよく読み、素材データとして使えるものに線を引きました。線を引いた箇所を、一文として整えて簡易情報集約シートに転記していきます。

次に、それらのデータの重要性について検討しますが、反復収集法というやり方で作業をしました。反復して重要と思われるデータに○をつけ、拾い上げていくデータの選択方法です。最も重要なデータが3~4ヶになるまで繰り返して行いました。

さらに、データの意味内容をよく味わって、意味内容が同じと思われるものにa, b, c, d, eなどの同じ記号を与え、集めます。このとき、主題などによって分類することがないように気をつけてみます。

意味内容の同じグループ分けができたなら、「aグループを統合してA」「bグループを統合してB」「cグループを統合してC」「dグループを統合してD」の文章を作成します。その中でも最も重要と思われる記号に○をつけます。

本文の意味内容をよく味わって、心象図に表現します。何かに例えて考えたり (山登りや樹や船の航海等)、本文を構造化します。

最後に、本文を考えて、終了です。
何故も情報を味わいながら、潜在的なニーズが浮き彫りになる体験をすることができ、さらに、グループでニーズはどこにあるかを深めることができました。

「気軽に相談できる仕組みづくりが重要だ」

- 気軽に思い立ったときに相談を受けられるシステムづくり
- 気軽に誰の健康に関する相談を受けられ、わかりやすい情報が得られる
- いつでもどこでもタイムリーに相談できるしくみが望まれている
- 市民がいつでもどこでもいるような方法で相談の窓口を開ける
- 相談できる場所、媒体を拡充する
- 産 (口腔) に気軽にアクセスできる窓口をつくる
- 相談も気軽にタイムリーに受けやすくする。そのためにメール相談、歯科衛生士による相談、まちなかでの健康情報アンテナショップを開設する
- 気軽にコミュニケーションのとれる場所

「治療・処置を受けやすくする仕組みづくり」

- 自分の都合と併せて治療を受けられるシステムづくり
- 診察時間や曜日・曜日・時間など、個々の専門家に按ずる機会を増やす
- 診察する機会が増えるような工夫が望まれている
- 気軽に歯科と接することができる
- 歯科保険サービスを受けられる時間帯・機会を拡充する
- 一般の高齢者さんや働く人に対して診療機会を広げる
- 治療や予防措置を受けやすくする。そのために診療時間のシフト制、企業出張診療・プログラムを行う
- 成人が歯科受診できる窓口をつくる

「さっかめとなるご案内はうれしい」

- 診察時間を確実に知らせるシステムづくり
- 柔軟なサービス体制
- 歯科保険サービスの案内とふれる機会を増やそうとしている
- さっかめになるご案内はうれしい
- 定期検診日の定着
- 誕生日などを利用して診察後も関係づくりをする
- メインテナンスの重要性を徹底する。そのためにDMのフォロー、誕生日検診キャンペーンを行う
- 定期的に受ける機会を気づくようにする

「歯科のイメージを変える心のプログラムづくり」

- 歯のケアの重要性をこれまでの常識にとらわれずに伝えるプログラムづくり
- 歯の健康へのアプローチの新しい視点を生み出す
- 今までにはなかった最新のシナリオとプログラムが必要だ
- 歯科のイメージを変える心のプログラム
- 歯科に対する意識改革
- 普通の人たちの歯に対するイメージを変える学習プログラムを開発する
- 受け入れやすい効果的な情報発信をする。そのために、エッセンスのPR、意識改革プログラムの周知を行う
- 一般の人たちの歯に対する認識を高める

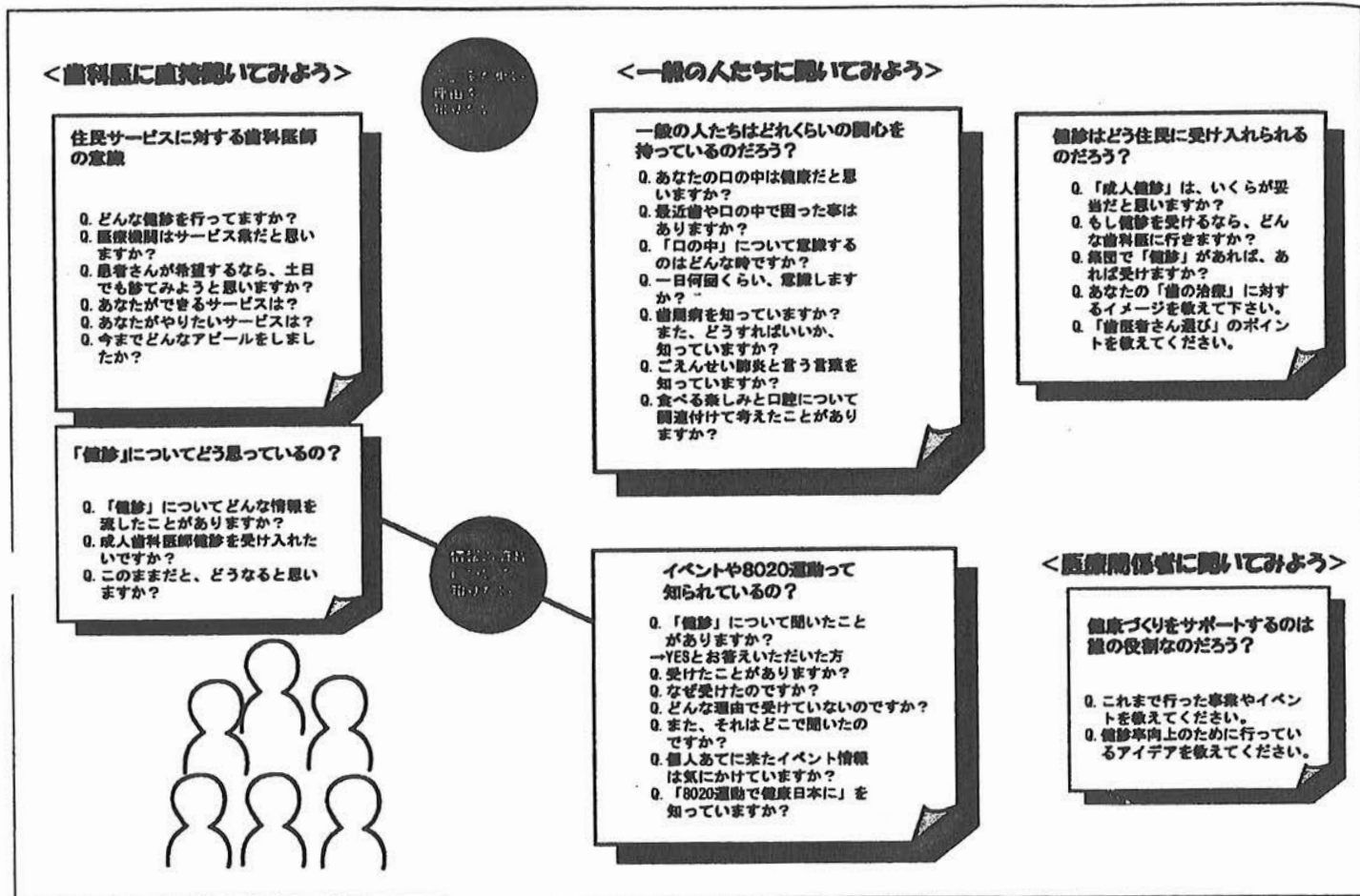
「スキルアップとその情報公開」

- 歯科医師の定期的なスキルアップシステムづくり
- スキルアップを図る
- 歯科医のスキル・特長を明確にする
- もっと知りたい歯科医の情報を
- 歯科医師の専門資格更新制の導入
- 研修・研修制度で歯科医の技術を認定する
- サービス提供者の質を高める。そのために、更新制度を導入しリストを情報提供する
- どこに行けばよいかすぐわかるようにする

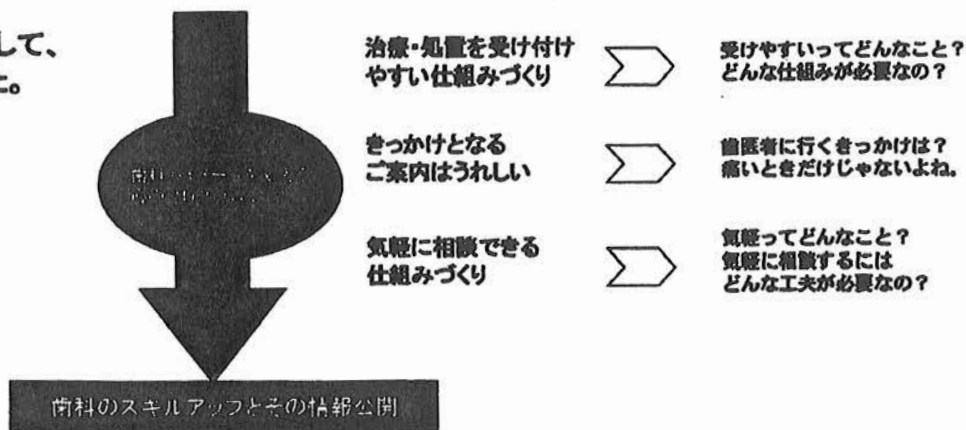


インタビュー

●学習会で、「インタビューで聞きたいこと」を整理しました。



●ここから見えてきたものを整理して、実際のインタビューを行いました。



●見えてきたこと

虫歯や歯周病はあって当たり前と思っている人が多い。
 歯を磨くことは、予防に大切だと認識している人が多い。
 何かことが起きたときに、予防の大切さを感じている人が多い。
 虫歯も歯周病も予防行動はできているが、個々の危険度によって変わるという認識がない。
 多くの人が歯に対して関心を持っている。
 成人歯科保険医療の対象となる年代層の人たちの多くは、夜間（19：00～21：00）の診療を望んでいる。
 歯科選びのための情報公開が十分になされていない。

しっかりとした治療こそが歯医者のサービスである。

患者が求めているもの(痛い、腫めない等)に答えることが大切である。そのためにしっかりとした治療が行なえることが大切である。

歯科医師、歯科衛生士との相性、医院の雰囲気、診療システム、値段などが患者のニーズにあっているかと治療にしてもメンテナンスにしても続く。

サービス業に対する認識がいまいち。

医療にはいろいろな規制がある。限られた中でサービス業だとは思いますが、サービスは出来ない。歯科医師と患者が対等な立場でいることが大切なのではないか。歯科医師が患者に対して命令するものも良くないし、患者に〜様をつけるようなヘリカたるのも良くない。サービスという言葉自体がいまいちだ。

新潟市内でも地域間に差がある。個人個人でデンタルIQは異なる。

伝え方も見直しが必要がある。

内容にインパクトが必要。歯が悪くなるとこうなるとか。ある程度の脅しも必要。

歯と口に関して、学校の理解度が低い。

子供は、学校や部活動が休めないため歯科医院に行かないと言う人が多い(歯医者が行くため休むとは言えない)。歯口への意識が学校の先生は低い。

継続的の診察を繰り返すことは必要である。

現在の節目健診受診率(5、6%)は、今まで歯科医院を受診していない人が健診を受診した結果であると思うので、患者の振り起しであると思う。これぐらいの数字でも、毎年継続すればいいのではないか。

最終的の診察は繰り返して欲しい。

歯周病に関しては、一般的なメンテナンス(定期的受診)は広く浸透している。症例によって歯科医院受診間隔を分けている。電話をしたり、はがきを送るという手段を使ってメンテナンス(定期的受診)は行っていない。

健診のシステムに問題がある。

今のシステムの節目健診では、患者にすまぬに歯科医院の取り分が少くない。その上時間がかか

金銭的に厳しい人は続かない。

健診と通常の診察を選択させている。

来院した人に、節目健診と通常のメンテナンスのどちらがいいのかを聞く通常のメンテナンスを選ぶ。健診は500円で安い診察のみで、その後の治療、クリーニングが含まれないから。

気持ちのよさと高い経験はセールスポイントである。

定期コールに応じる人は、気持ち良いことと安心を得るために来る。

定期コールの嫌な人は、一回痛い思いをした人が、このままでは歯がなくなると言う危機感から来る。歯肉炎のような自覚のない人はあまり続かない。

定期コールをしても、悪くなったりする場合がありますのであまり患者にすすめないが、自覚のある人は何かしら自分で気になる点(むし歯?歯石?)を見つけて来る。

節目健診だけを目的にしている人は少ない。

節目健診のため来院した人は、これまで自分の歯科医院で診てきた人ばかりである。節目健診のために初めて来るという人はまずいない。

土日の診察はリピーターが少い

土曜日の予約を避ける人もいる。土日はみんな(市民、住民も含めて)休みたいのではないのか。実際に土日歯科医院が開いているとしたら、来院するか?

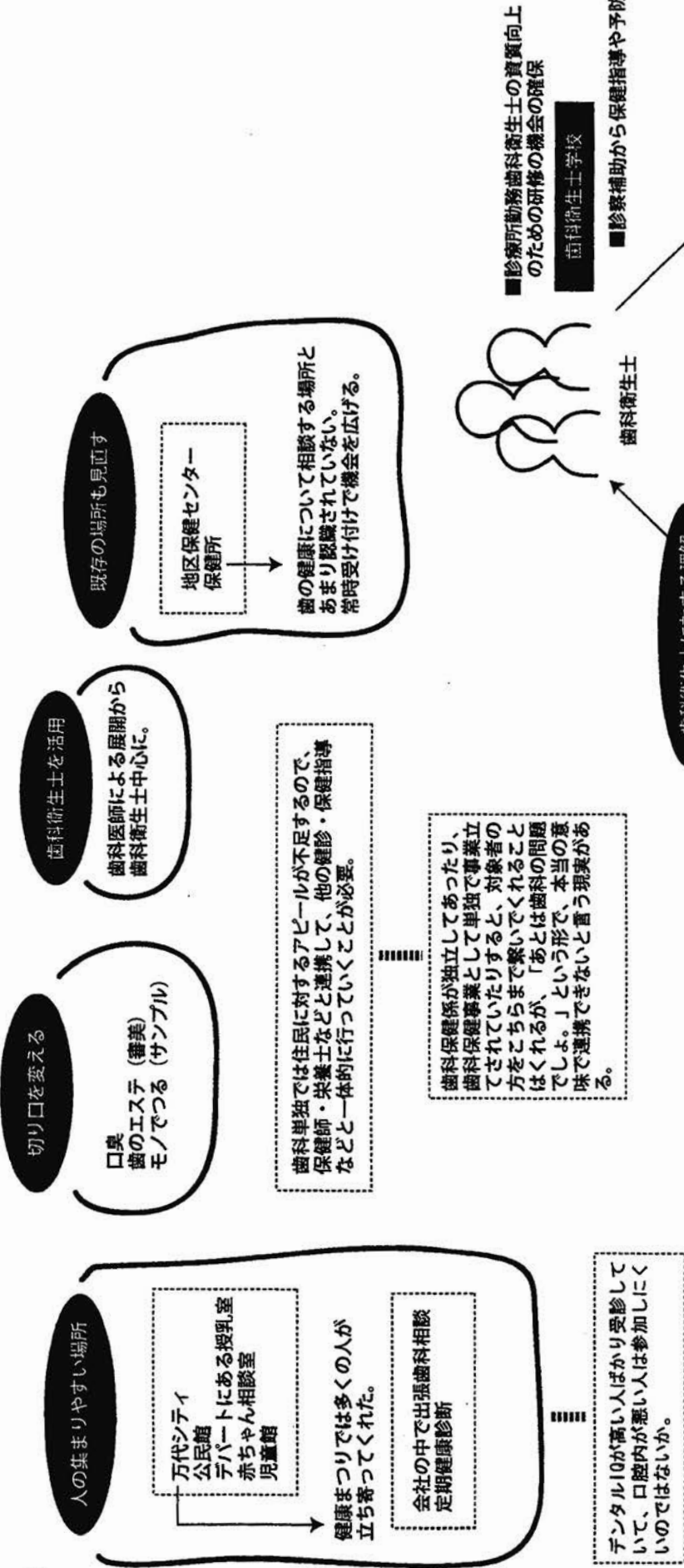
休日急患センターの担当になっていても、それほど患者は来ない。

土曜日の午後も開いているが、初めて来院した患者は、継続してくる人が少ない。

土曜日曜や平日の夜間することで歯科を受診出来ない人の一部は救える。だが継続して来院してくれる人は少ないと思う。

いろいろな場面で市民からそのような声が出るが、おそらく来院するのはその時歯が痛い人だろう。そのような人達は、痛みが消えたら治療途中で来なくなることが多い。

□気軽にできる相談のしくみ



切り口を変える

口臭
歯のエステ (審美)
モノでつる (サンプル)

歯科衛生士を活用

歯科医師による展開から
歯科衛生士中心に。

既存の場所も見直す

地区保健センター
保健所

歯の健康について相談する場所とあまり認識されていない。
常時受け付けで機会を広げる。

歯科単独では住民に対するアピールが不足するので、
保健師・栄養士などと連携して、他の健診・保健指導
などと一体的に行っていくことが必要。

歯科保健係が独立してあったり、
歯科保健事業として単独で事業立
てされていたりすると、対象者の
方をこちらまで繋いでくれること
はくれないが、「あとは歯科の問題
でしょ。」という形で、本当の意
味で連携できないと言っている現実があ
る。

やはりまだ、予約が大変。
歯科医院の敷居は高い。

■ 歯科医の理解・認識が必要
治療ではなく、予防・管理。

■ 診療所のシステムの転換
適正な数より予約を多く入れている歯科が多い。
キャンセルを恐れている。

■ 患者さんの側にも、痛くもないのに相談
やチェックで歯科医院を訪れようという
意識は根付いていない。

■ 2、30分と待たせると文句を言って、
帰ってしまう患者さんもいる。

■ 患者さんの側にも、痛くもないのに相談
やチェックで歯科医院を訪れようという
意識は根付いていない。

一回の治療時間が十分に取れない。

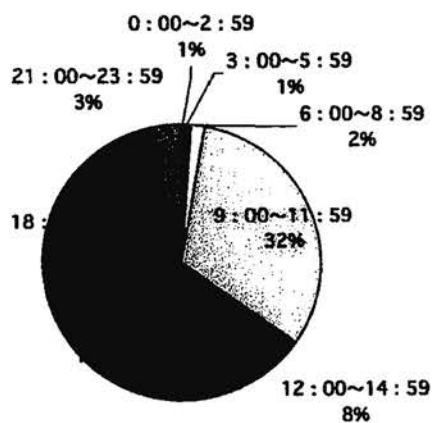
時間帯別通院可能時間

		2月1日	2月7日	2月8日
0:00	1			1
1:00	0			
2:00	0			
3:00	1		1	
4:00	0			
5:00	1		1	
6:00	1			1
7:00	1		1	
8:00	2		1	1
9:00	34		26	8
10:00	33	1	22	10
11:00	8	1	4	3
12:00	4	1	3	
13:00	4		3	1
14:00	10		8	2
15:00	16	1	5	10
16:00	10	2	6	2
17:00	23		16	7
18:00	51	15	24	12
19:00	19		14	5
20:00	9	5	3	1
21:00	7	4	1	2
22:00	0			
23:00	1	1		

時間帯別

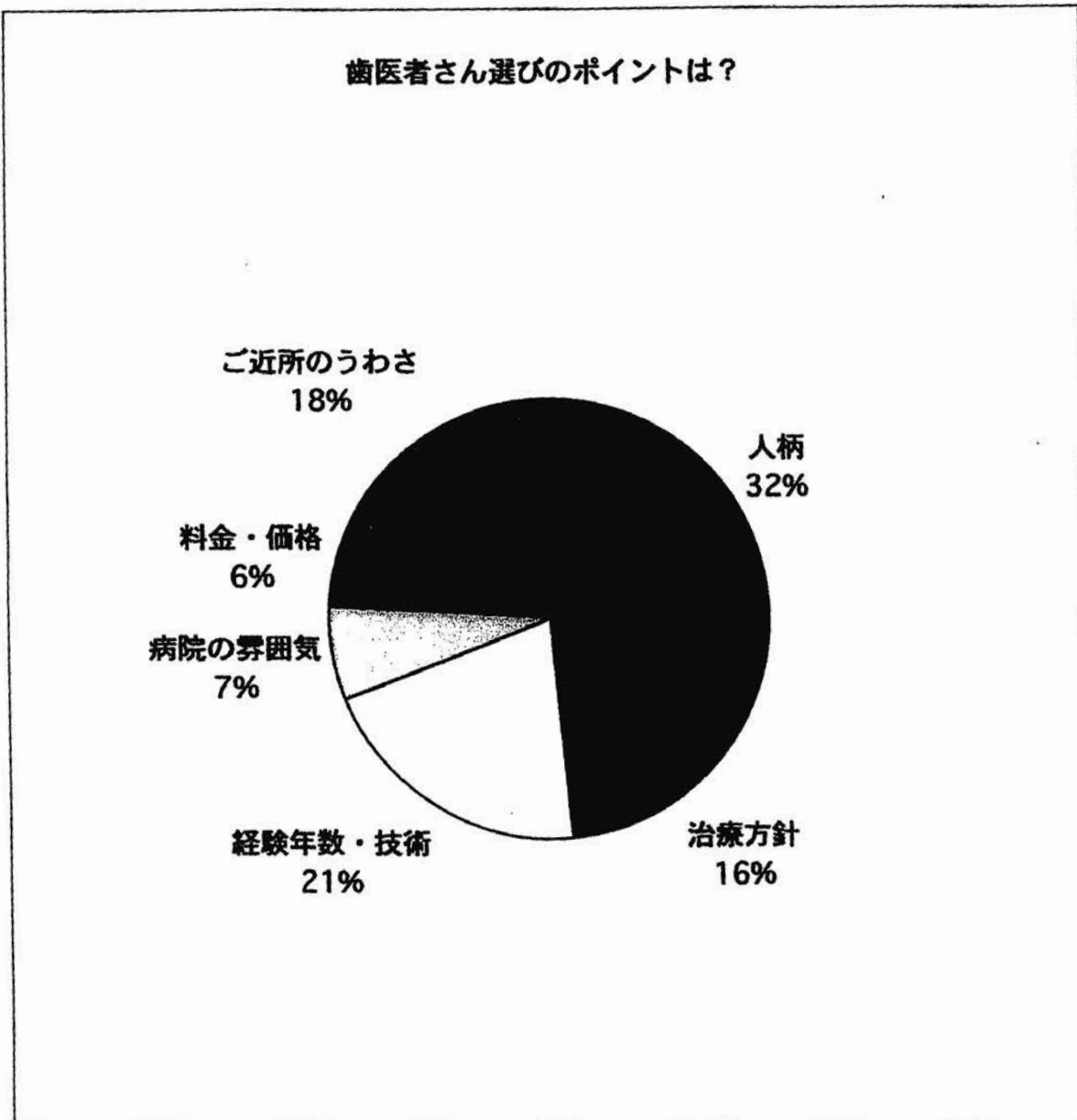
0:00~2:59	3
3:00~5:59	4
6:00~8:59	8
9:00~11:59	150
12:00~14:59	36
15:00~17:59	98
18:00~20:59	158
21:00~23:59	16
計	473

あなたが通院できる時間帯は？



歯医者さん選びのポイント

	計	2月1日	2月7日	2月8日
人柄	158	20	61	77
治療方針	78	6	25	47
経験年数・技術	101	14	18	69
病院の雰囲気	34	9	16	9
料金・価格	28	3	11	14
ご近所のうわさ	90	12	33	45
総数	489	64	164	261



活動の記録

市民と歯科保健関係者との 意見交換会

と き 平成16年2月1日(日)

場 所 万代リターナ

参加者 24名

プログラム

- 1:00 オープニング
- 1:10 ゆるやかな関係づくり
- 1:20 お試し体験&プレゼンテーション
- 1:50 みんなでサービス番付をつけよう
- 2:00 (休憩)
- 2:15 グループディスカッション
- 3:30 全体で発表会
- 3:50 ワークショップのふりかえり
- 4:00 終了

市民と歯医者さんの 意見交換会

に参加してみませんか？

市民と歯科医で奏でる「は～もに～プロジェクト」

日時 2月1日(日) 午後1時～4時

会場 万代リターナ (万代バスターミナルビル2F)

参加費 無料 (事前に申込みが必要です)

定員 40名程度

※詳しくは裏面をご覧ください

見える歯 見えない歯 おもしろい歯

「8020運動」って知っていますか？
80歳になっても20本以上自分の歯を保とう！
という運動です。

20本以上自分の歯があれば、
ほとんどの食べものをかみ砕くことができるため、
おいしくものが食べられます。

ですから、大人になってからも、
お口のケアを定期的にしていくことは
とても大切なことなんです。

市民が美味しい食べものを、
いつまでもおいしく食べられるために...
新潟の成人歯科保健を身近なものに...

そんな想いから、
市民の皆さんと歯科医師の先生たちで
意見交換会を開催します。

たくさんの方で参加をお待ちしております。

《参加申込み・お問い合わせはこちらへ》

NPO法人まちづくり学校 Tel.025-241-3722

こちらませひ！

NEEN(日)・80(日)は...
「は～もに～プロジェクト」に参加して！
歯を失ったままの生活は、お口の健康を失った生活と同じです。



主催
は～もに～プロジェクト実行委員会

は～もに～プロジェクトとは、8020期成の実現を受け、新潟市での成人歯科保健を推進するために、歯科医師会・大学・保健所・行政・まちづくり市民団体が協力して進めている活動です。

事務局 新潟大学歯学部口腔保健推進学分野(予防歯科) 025-227-2868
NPO法人まちづくり学校 025-241-3722

協力：8020推進財団 日本歯科医師会 新潟県歯科医師会 新潟市歯科医師会 新潟大学歯学部口腔保健推進学分野(予防歯科) 新潟青年会議所 NPO法人まちづくり学校

《市民と歯医者さんの意見交換会の概要》

どうして意見交換会を開催するの？

あなたは「歯医者さん」と聞くと何をイメージしますか？

「痛い」「怖い」「あの音が、…」
「痛くなったら行くところ」 などなど、…

マイナスのイメージが強い歯医者さんですが、
歯の大切さは誰もが認める場所ですね。

歯があるおかげで、
私たちは美味しいものをおいしく食べられます。
歯を食いしぼることで、
私たちは力を出すことができるのです。

突然ですが、「8020運動」って知っていますか？
80歳になっても20本以上自分の歯を保とう！という
運動です。



何で20本以上なのかって？

実は、20本以上自分の歯があれば、
ほとんどの食べものをかみ砕くことができるため、
美味しいものをおいしく食べることができるからです。

新潟は食の宝庫です。
誰もが、にいがたの美味しい食べものを、
いつまでもおいしく食べたいですね。

では、どうやったら80歳になっても
20本以上自分の歯を保つことができるのでしょうか？

残念ながら、日頃からお口のケアをするという、
地道な方法しかありません・・・。

体の健康については、
誰もがそれなりに注意を払っていますよね。
誰もが、常日頃から病気になるような配慮はして
いますし、大人になっても、健康診断は受け続けてい
ますよね。

でも、お口の場合はどうでしょう？
せいぜい、毎日歯みがきをするぐらいですね。
体と同じように定期的にお口の健診を受けている人
は・・・残念ながら、ほんの一握りの人だけです。

いつまでも、新潟のおいしさを味わい続けてほしい・・・
そのために、たくさんの方が歯の健診を受けてほし
い・・・
そのためには、どうしたらいいのだろうか？

こんな思いから、今回の意見交換会を開催することに
しました。

いろんな人が集まって、歯のことを話し合ってみると、
きっと新しい発見があるはずです！

意見交換会のプログラム

pm1:00	オープニング
1:10	ゆるやかな関係づくり
1:20	お試し体験&プレゼンテーション
1:50	みんなでサービス番付をつけよう
2:00	(休憩)
2:15	グループディスカッション
3:30	全体で発表会
3:50	ワークショップのふりかえり
4:00	終了

意見交換会の成果はどうなるの？

は～もに～プロジェクト実行委員会では、意見交換
会で出された意見等を踏まえながら、成人歯科保健推
進のための行動計画を作成していく予定です。

この行動計画は、これまで以上に成人歯科保健を身
近なものにするべく、関係主体（歯科医師・行政・市
民等）がどのように行動していくべきかを明確にしま
す。皆さんの意見は、今後の新潟の成人歯科保健のあ
り方を考える上で、非常に重要なデータとなりますの
で、忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。

は～もに～プロジェクト実行委員会って何？

8020推進財団の支援を受け、新潟の歯科保健関係者
（日本歯科医師会、新潟県歯科医師会、新潟市歯科医
師会、新潟県福祉保健部、新潟市保健所、新潟大学歯
学部）と市民団体（新潟市青年会議所、NPO法人まち
づくり学校）が協働して、新潟の成人歯科保健のあり
方を住民参加で考えていくための発足した組織です。

事務局 新潟大学歯学部口腔保健推進学分野（予防歯科）
Tel 025-227-2668

NPO法人まちづくり学校
Tel 025-241-3722



意見交換会への参加を希望される方は...

準備の都合もありますので、事前の下記へお申し込み
下さい。

NPO法人まちづくり学校
tel&fax 025-241-3722
〒950-0994 新潟市上野一丁目12-7
E-mail machi@onlyone.ne.jp

ご参加をお待ちしております！

<意見交換会のふりかえり>

平成16年2月1日

万代リターナにて

■あなたが今日気づいたことは？

- *歯がわるい人でも来ていない人の方が非常に多い。
- *一般の方が持っている歯科に対しての認識が歯科関係者が考えていることとギャップがあること。
- *やはり歯科医のイメージとして「痛い」があがってくる。
- *予防・健診への意識が高まった。予想以上に重要だと気づいた。
- *定期的な健診が大切だと感じました。
- *専門家の立場からもっと予防の必要性や情報伝達をする機会をみつけていくことが必要だと思っ
た。
- *今後、もっと大きな輪となって、いろいろ改善されていこうと思いました。医師会が本
気で、前向き
に進もうとされていると気づきました。
- *歯科医の方々も大変だなあと思うとともに、真剣に取り組んでおられるなあと感じました。
- *意外と歯間ブラシを使っている人はいる。
- *住民は歯科医を口コミをたよりに選んでいる。
- *予防に対する意識は、皆一緒なんだあ…
- *おもしろくまとめるものだと感心した。
- *なかなかグーな企画でした。ありがとうございました。
- *歯に対する関心は意外と高いと感じた。しかし、受診行動につながらないのは、歯科のマイ
ナスイメージが原因か？
- *歯の検診に行かねばと思った。予防の大切さを再認識した。
- *意見交換が対等&活発。
- *まだまだ「すてた物ではない」歯科の業界だと気づいた。
- *このような方式が今までにない効果を生みそうな予感がします。これを全国に広めたいと思
います。
- *まずはきちんと予防しなければと思いました。予防が一番、短時間で安価なのがわかりまし
た。
- *歯の予防にいろんな方法があるんだな—と思った。
- *一般の方々が治療方針以外に人柄により歯科を選ばれていることに驚いています。
- *定期的に受診することが大切だと気づいた。
- *歯科関係者でなくてもお口に関心に向けている人、一生懸命な人も少数でもいるというこ
とがわかった。
- *一般市民の方が歯科知識が豊富であること。
- *受診率を上げるには、やっぱりきっかけづくりが必要だということ。

*歯が痛くなったときに歯医者に見てもらおうのではなく、歯の予防のためにも見ていただくべきだということ。

*予防が一番！

*初めての企画であり、大変参考になった。

*思っていた以上に市民も関心があるんだなあ。

*かかりつけ歯科医をつくるきっかけ。

*口の中を気にはするけど、実行には移しにくいみたい。確かに自分でも他の体のことは気にしていない。

*市民の意識は以外と高い。

■あなたが今日うれしく思ったこと、満足したことは？

*患者さん側の素直な意見が聞けて大変参考になった。

*街に行く人も気軽に答えてくれるニイガタって良いなあ。

*あかりがみえてきた。

*いろいろな人がアンケートに参加してくれた。

*会議の進行について参考になりました。皆様の積極的な参加意識が会を盛り上げることになったと思います。

*歯をほめられたこと。あと、いろいろもらっちゃいました。虫歯になりにくいこともわかって良かった。

*自分の歯がほめられたこと。

*高校生や大学生が来てくれたこと。岩手からも歯科医の方が来てくださったこと。

*全体のプログラム、進行、全てにおいて勉強になりました。大変感謝しております。ありがとうございました。

*虫歯のなりやすさチェックで唾液の質は虫歯になりにくいという判定が出たこと。

*歯医者さんにいろいろ話を聞いたこと。体験コーナーがおもしろかった。

*一般の方も歯科に関して深く考えていらっしゃる事。また、どの様に改善してゆけば良いのかを思っていたらっしゃる事です。

*普段話すことがない歯医者さん（専門家）に素朴な疑問が聞けてよかった。

*先生から直接話が聞けてよかった。

*このような自由な意見を聞けて有意義でした。

*「医者の人から」がポイント高くてよかった。

*素晴らしい方々との出会い。

*口臭測定、口の写真、虫歯のなりやすさなどの検査を実際にみることができた。

*多くの景品があったこと。

*みんなが思ったことを活発に話していること。

*皆の元気がすごく感じた。

*楽しく歯科について考えられました。

- * 歯科検診の必要性を認識しました。口臭や虫歯のなりやすさなどの評価には良いと思いました。
- * 歯科医の方々がいろいろ疑問を持っていらっしゃることに安心し、たのしく思いました。
- * 一般の方が本当は歯科に関していろいろ知りたいと思っているということがわかった。
- * 虫歯の件、あごの件についてわかった事がとても良かったです。
- * 歯医者さんも色々と考えてくれているんだとわかったこと。うがい薬をもらえたこと（笑）。
- * 他の職種の方と意見交換ができたこと。
- * いろいろな立場の方の意見が聴けたこと。
- * 歯を残す仕事が増加する。

■あなたが今日不満に思ったこと、悲しかったことは？

- * 初めて小学生のころ歯をぬかれたときに非常に痛い思いをした。
- * 具体的な行動計画は今後の課題でしょう。
- * もっと一般市民の方が多いともっとよかったです。
- * 歯科保健・予防に関しての知識をまだまだ幅広く広める必要があると改めて感じた。
- * お昼に歯をみがいたので、口臭測定ができなかったこと。
- * 自分自身について考えがうまくまとめられない。
- * 唾液の力がなかったこと。
- * おもしろかったのではないです。
- * それでもアンケート（街角）参加に断固拒否という感じの人もいた。（このような人にも意見を聞きたい。）
- * 歯科医師自体の変化が必要。
- * かけあしになってしまった。プレゼンもっと考えていたのにしっばい。

■あなたが今日、言い残したことは？

- * 医療サービスの“サービス”ってなんだろう。
- * 歯医者に行きたくなりました。
- * このような企画をまたお願いいたします。参加する前は、どのようなイベントかと思っておりましたが、今後の参考になることが多かったです。
- * 歯科衛生士として患者の立場に今以上にたたなければならない事です。
- * 定期健診に行きます！
- * お礼を言えなかったスタッフの方々へ「ありがとうございました。」
- * こういう意見交換会の場は色々な立場の人と交流できて有意義な会だと思います。設営本当にご苦労様でした。
- * 歯はなくなってからはじめてその大切さがわかるんだよね。
- * 日本の医療制度そのものの改革をお願いします。

- *いろいろな立場の人が同じ土俵で自由に意見交換できる場がもっとふえるといいと思う。今日の会が今度いい形で発展していくことを望みます。
- *マウスガードは歯医者さんへ行ってつくってもらう方が良い。

■その他

- *自分の歯が完全に治るようにしたい。
- *スタッフの皆様お疲れ様でした。
- *「意識」だけでなく、「実行・行動」しないといけないと。
- *今日参加させていただき、ありがとうございました。
- *このような機会を再度やって欲しい。目標に薬剤師会などと一緒にしては？
- *“まとめ方”がうまい！
- *一般人（関係者でない）はどの位いるものですか？
- *ご苦労様でした。又の企画を楽しみにしています。
- *スタッフのみなさん、ごくろう様でした。
- *ぜひこの事業を継続していきたいと思います。
- *虫歯になりやすさチェック次回したいです！
- *歯科に関して関心するほどに情報をお持ちの方が多事です。
- *これからも「歯の大切さ」をPRする機会をつかって、だれもが気軽に歯科医院に行けるようになるといいと思いました。
- *歯の定期検査を受けてみようかなあと思った。
- *今後も同様の企画の積み重ねが重要。この結果をしっかりと評価して今後につなげたい。

にいがた食の陣における 実験イベント

と き 平成16年2月7日(土)、8日(日)
場 所 古町6番町会場

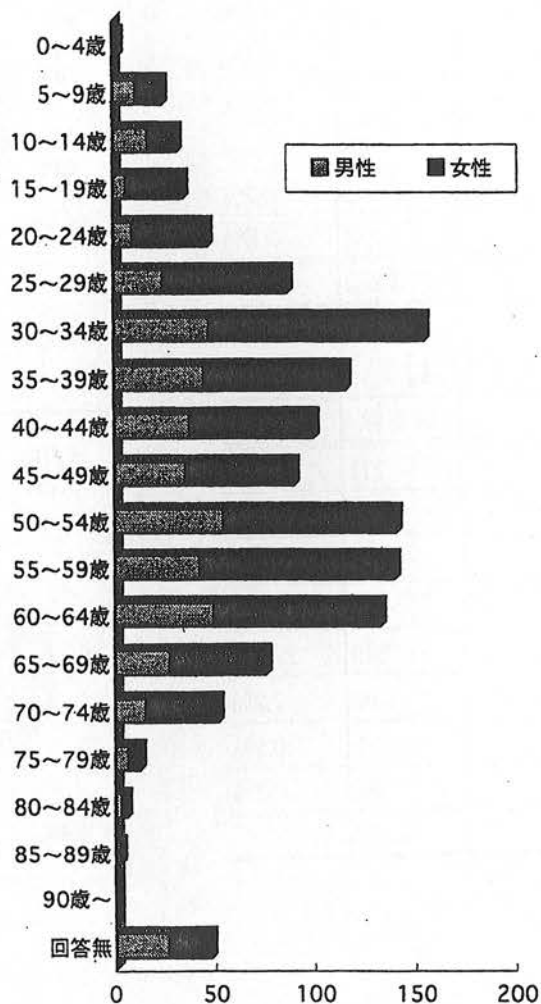


04.2.8-9 にいがた食の陣 街頭アンケート集計結果

有効回答数：1,283名

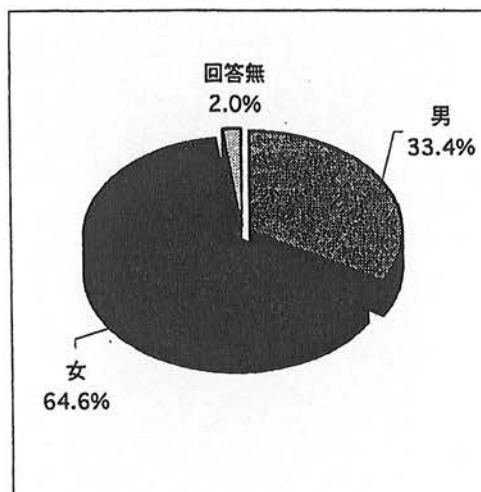
【回答者の属性-1】

年齢	回答数	割合
0～4歳	2	0.2%
5～9歳	24	1.9%
10～14歳	31	2.4%
15～19歳	34	2.7%
20～24歳	46	3.6%
25～29歳	86	6.7%
30～34歳	154	12.0%
35～39歳	115	9.0%
40～44歳	99	7.7%
45～49歳	89	6.9%
50～54歳	140	10.9%
55～59歳	139	10.8%
60～64歳	132	10.3%
65～69歳	75	5.8%
70～74歳	51	4.0%
75～79歳	12	0.9%
80～84歳	5	0.4%
85～89歳	2	0.2%
90歳～	0	0.0%
回答無	47	3.7%
	1,283	



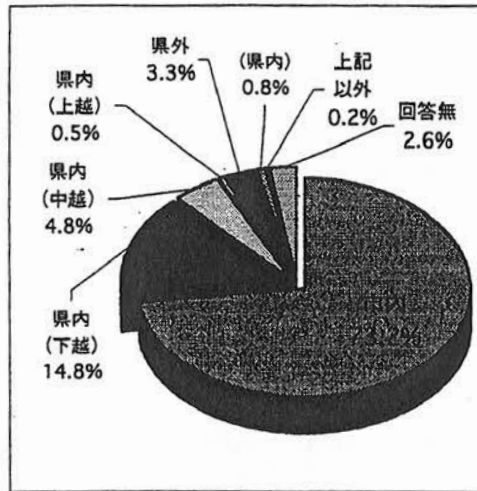
【回答者の属性-2】

性別	回答数	割合
男	428	33.4%
女	829	64.6%
上記以外	0	0.0%
回答無	26	2.0%
	1,283	



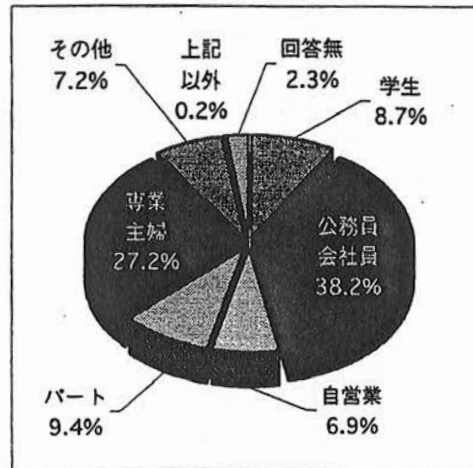
【回答者の属性-3】

住まい	回答数	割合
市内	939	73.2%
県内（下越）	190	14.8%
県内（中越）	61	4.8%
県内（上越）	6	0.5%
県外	42	3.3%
（県内）	10	0.8%
上記以外	2	0.2%
回答無	33	2.6%
	1,283	



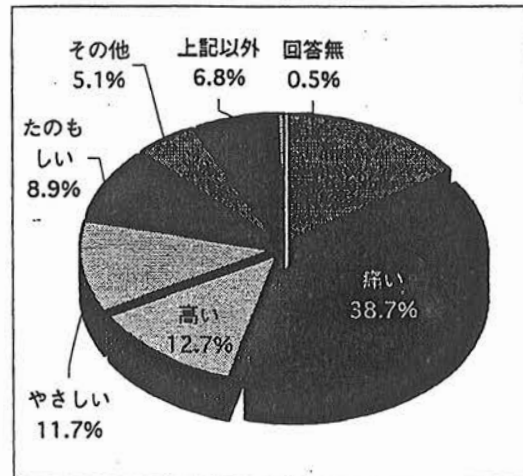
【回答者の属性-4】

職業	回答数	割合
学生	111	8.7%
公務員・会社員	490	38.2%
自営業	89	6.9%
パート	121	9.4%
専業主婦	349	27.2%
その他	92	7.2%
上記以外	2	0.2%
回答無	29	2.3%
	1,283	



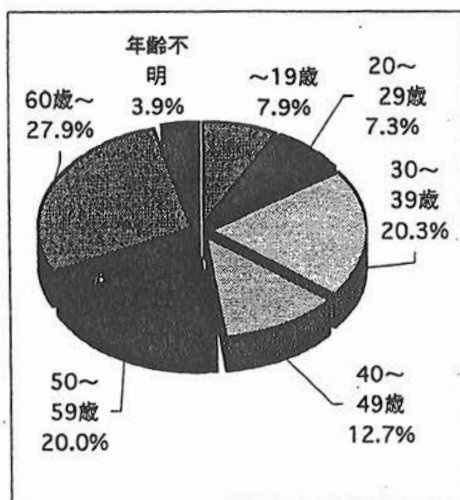
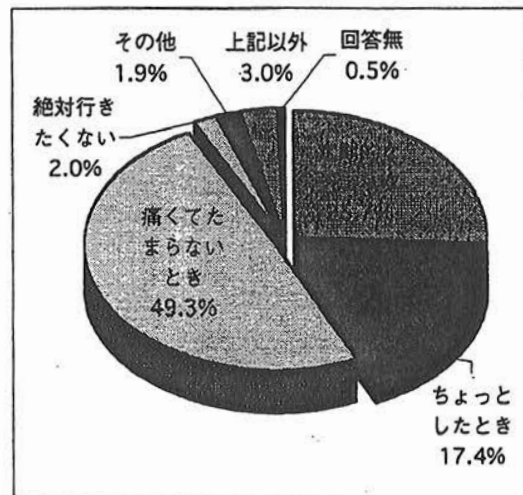
【Q1 「歯医者さん」のイメージ】

選択肢	回答数	割合
怖い	200	15.6%
痛い	496	38.7%
高い	163	12.7%
やさしい	150	11.7%
たのもし	114	8.9%
その他	66	5.1%
上記以外	87	6.8%
回答無	7	0.5%
合計	1,283	



【Q2 歯医者に行く際の理由】

選択肢	回答数	割合
定期的なチェック	330	25.7%
ちょっとしたとき	223	17.4%
痛くてたまらないとき	633	49.3%
絶対行きたくない	26	2.0%
その他	25	1.9%
上記以外	39	3.0%
回答無	7	0.5%
合計	1,283	

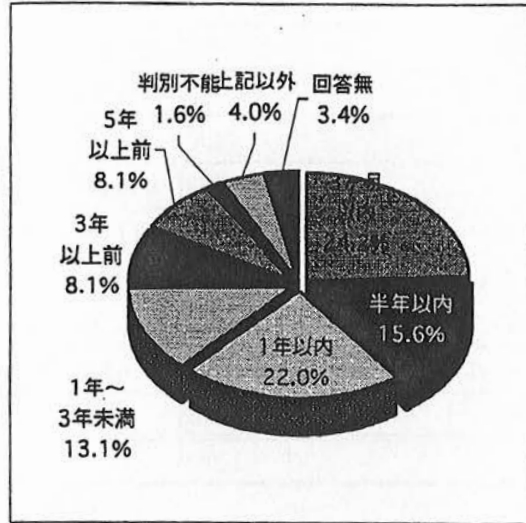


※定期的チェックを受ける年齢層

	回答数	割合
～19歳	26	7.9%
20～29歳	24	7.3%
30～39歳	67	20.3%
40～49歳	42	12.7%
50～59歳	66	20.0%
60歳～	92	27.9%
年齢不明	13	3.9%
合計	330	

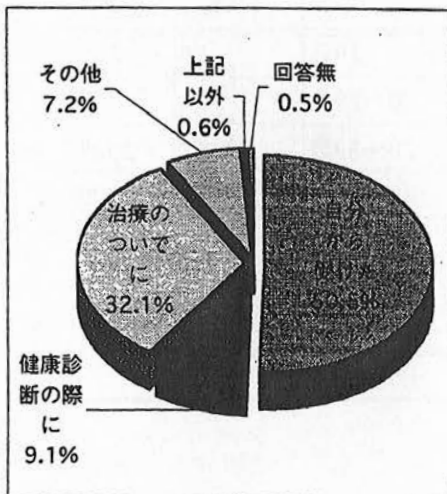
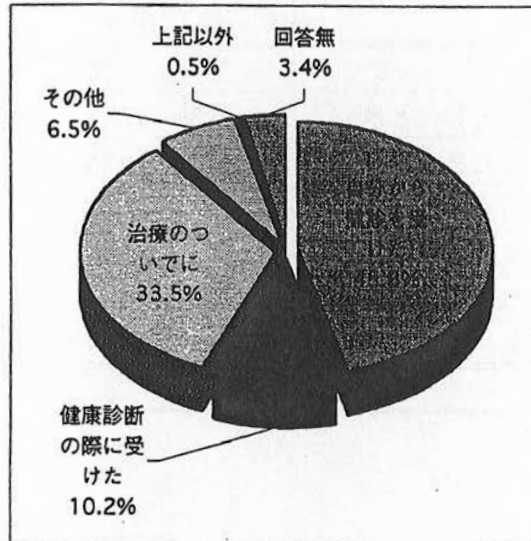
【Q3 前回歯科健診を受けた時期】

選択肢	回答数	割合
3ヶ月以内	310	24.2%
半年以内	200	15.6%
1年以内	282	22.0%
1年～3年未満	168	13.1%
3年以上前	104	8.1%
5年以上前	104	8.1%
判別不能	20	1.6%
上記以外	51	4.0%
回答無	44	3.4%
合計	1,283	



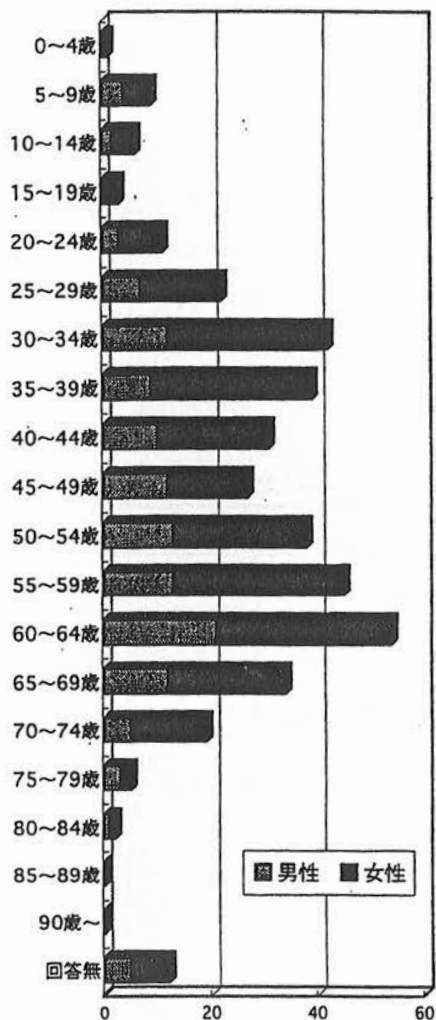
【Q4 健診を受けた動機】

選択肢	回答数	割合
自分から健診を受けた	588	45.8%
健康診断の際に受けた	131	10.2%
治療のついでに	430	33.5%
その他	83	6.5%
上記以外	7	0.5%
回答無	44	3.4%
合計	1,283	



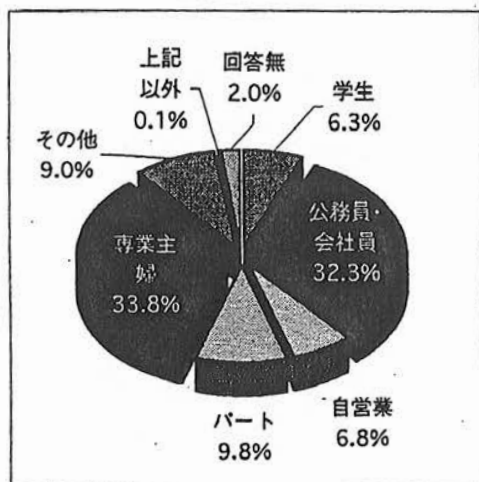
※一年以内に健診を受けた人の動機
(全回答者の61.7%)

	回答数	割合
自分から受けた	400	50.5%
健康診断の際に	72	9.1%
治療のついでに	254	32.1%
その他	57	7.2%
上記以外	5	0.6%
回答無	4	0.5%
合計	792	



※一年以内に自分から健診を受けた人の年齢

	男性	女性
0~4歳	0	1
5~9歳	4	5
10~14歳	2	4
15~19歳	0	3
20~24歳	3	8
25~29歳	7	15
30~34歳	12	30
35~39歳	9	30
40~44歳	10	21
45~49歳	12	15
50~54歳	13	25
55~59歳	13	32
60~64歳	21	33
65~69歳	12	22
70~74歳	5	14
75~79歳	3	2
80~84歳	1	1
85~89歳	0	0
90歳~	0	0
回答無	5	7
	132	268

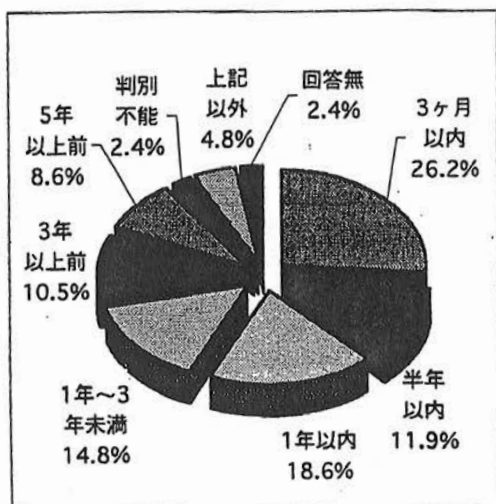


※一年以内に自分から健診を受けた人の職業

職業	回答数	割合
学生	25	6.3%
公務員・会社員	129	32.3%
自営業	27	6.8%
パート	39	9.8%
専業主婦	135	33.8%
その他	36	9.0%
上記以外	1	0.3%
回答無	8	2.0%
	400	

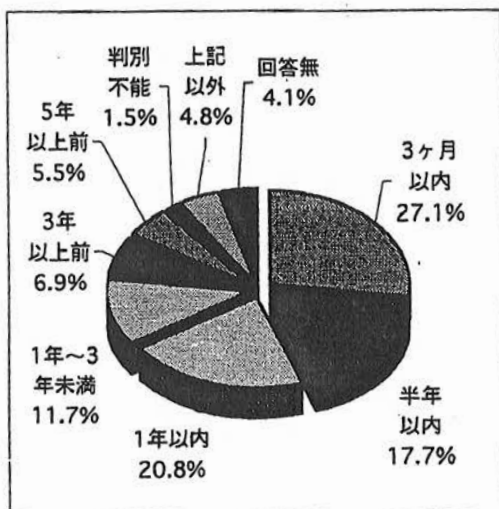
【職業別受診状況】

※ 自営・パートの受診状況



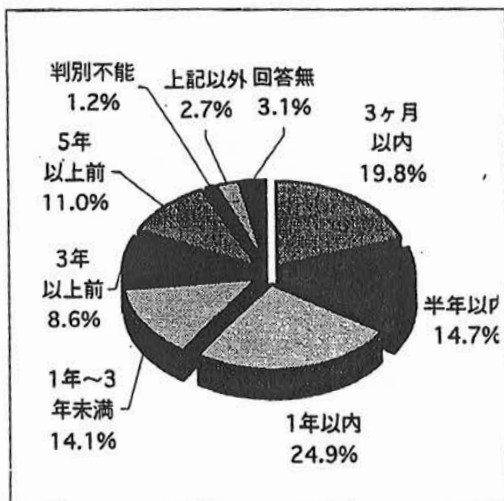
選択肢	回答数	割合
3ヶ月以内	55	26.2%
半年以内	25	11.9%
1年以内	39	18.6%
1年～3年未満	31	14.8%
3年以上前	22	10.5%
5年以上前	18	8.6%
判別不能	5	2.4%
上記以外	10	4.8%
回答無	5	2.4%
合計	210	

※ 専業主婦の受診状況

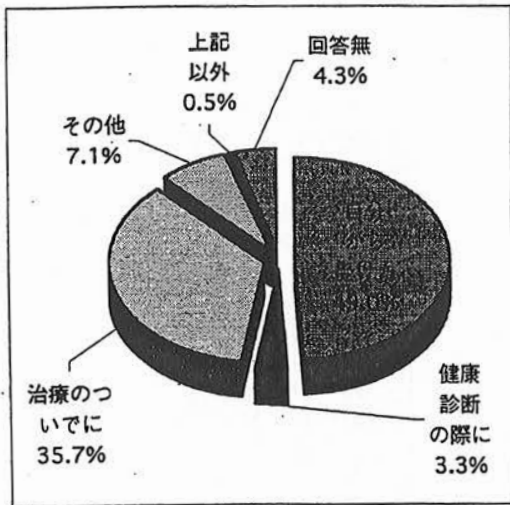


選択肢	回答数	割合
3ヶ月以内	158	27.1%
半年以内	103	17.7%
1年以内	121	20.8%
1年～3年未満	68	11.7%
3年以上前	40	6.9%
5年以上前	32	5.5%
判別不能	9	1.5%
上記以外	28	4.8%
回答無	24	4.1%
合計	583	

※ 会社員・公務員の受診状況

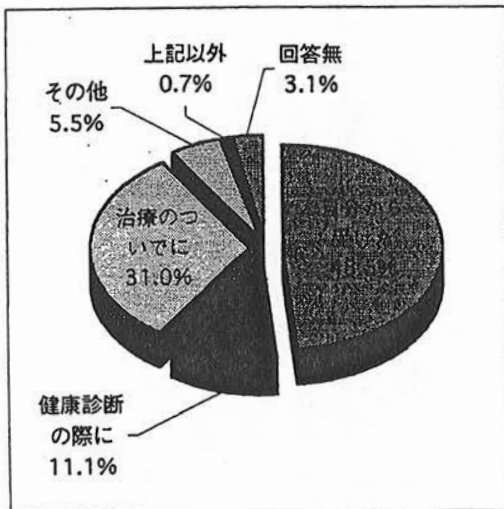


選択肢	回答数	割合
3ヶ月以内	97	19.8%
半年以内	72	14.7%
1年以内	122	24.9%
1年～3年未満	69	14.1%
3年以上前	42	8.6%
5年以上前	54	11.0%
判別不能	6	1.2%
上記以外	13	2.7%
回答無	15	3.1%
合計	490	



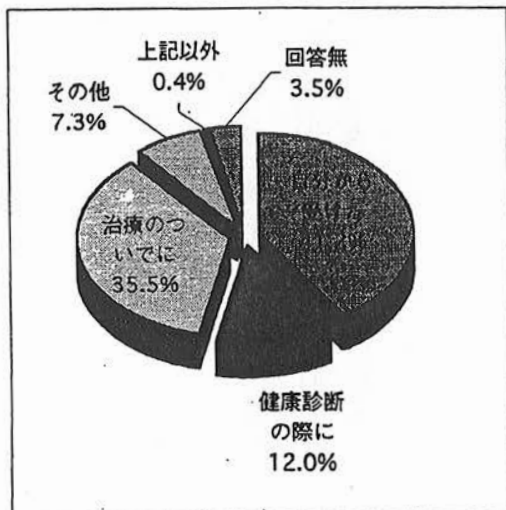
※自営・パートの受診動機

	回答数	割合
自分から受けた	103	49.0%
健康診断の際に	7	3.3%
治療のついでに	75	35.7%
その他	15	7.1%
上記以外	1	0.5%
回答無	9	4.3%
合計	210	



※専業主婦の受診動機

	回答数	割合
自分から受けた	283	57.8%
健康診断の際に	65	13.3%
治療のついでに	181	36.9%
その他	32	6.5%
上記以外	4	0.8%
回答無	18	3.7%
合計	583	



※会社員・公務員の受診動機

	回答数	割合
自分から受けた	202	41.2%
健康診断の際に	59	12.0%
治療のついでに	174	35.5%
その他	36	7.3%
上記以外	2	0.4%
回答無	17	3.5%
合計	490	



あなたの
8020度
チエック!



あなたの
8020度
チエック!

あなたの「8020」度を、このクイズでチエック!!
80歳の時、おぼは20本以上の歯が残っているのでしょうか?

あなたの「8020」度を、このクイズでチエック!!
80歳の時、おぼは20本以上の歯が残っているのでしょうか?

評価

評価

<問題>

解答欄 (1つにOを付けてください)

<問題>

解答欄 (1つにOを付けてください)

①8020運動とは、「80歳で20本以上、自分の歯を残そう」という運動のことだと思っている。	はい	いいえ
②歯がなくなる原因と歯周病とは無関係だと思っている。	はい	いいえ
③あなたが好んで食べる食べ物は次の2つのどちらですか?	<input type="checkbox"/> 柔らかい食べ物 <input type="checkbox"/> 噛み応えのある食べ物	
④あなたが、普段の食事でご飯を噛む回数はどれぐらいですか?	約	回
⑤食べ物の好き嫌いは多い方ですか?	はい	いいえ
⑥寝る前には必ず歯を磨きますか?	はい	いいえ
⑦歯ブラシ以外にも歯間ブラシやフロスなども使っていますか?	はい	いいえ
⑧前回、歯科健診を受けたのはどれぐらい前ですか?	約	年・ヶ月 前
⑨たばこは吸いますか?	はい	いいえ
⑩いつも口の中が乾いた感じがしますか?	はい	いいえ

①8020運動とは、「80歳で20本以上、自分の歯を残そう」という運動のことだと思っている。	はい	いいえ
②歯がなくなる原因と歯周病とは無関係だと思っている。	はい	いいえ
③あなたが好んで食べる食べ物は次の2つのどちらですか?	<input type="checkbox"/> 柔らかい食べ物 <input type="checkbox"/> 噛み応えのある食べ物	
④あなたが、普段の食事でご飯を噛む回数はどれぐらいですか?	約	回
⑤食べ物の好き嫌いは多い方ですか?	はい	いいえ
⑥寝る前には必ず歯を磨きますか?	はい	いいえ
⑦歯ブラシ以外にも歯間ブラシやフロスなども使っていますか?	はい	いいえ
⑧前回、歯科健診を受けたのはどれぐらい前ですか?	約	年・ヶ月 前
⑨たばこは吸いますか?	はい	いいえ
⑩いつも口の中が乾いた感じがしますか?	はい	いいえ

*こちらを答え下さい。(O印を付けてください)

*こちらを答え下さい。(O印を付けてください)

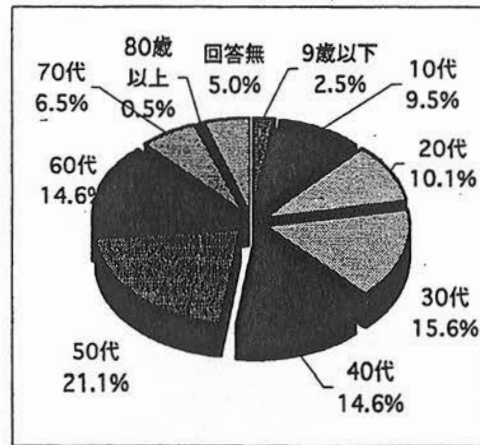
年 齢) 9歳以下 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上
性 別) 男 性 ・ 女 性

年 齢) 9歳以下 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80歳以上
性 別) 男 性 ・ 女 性

04.2.8-9 にいがた食の陣 8020チェック集計結果
有効回答数：199名

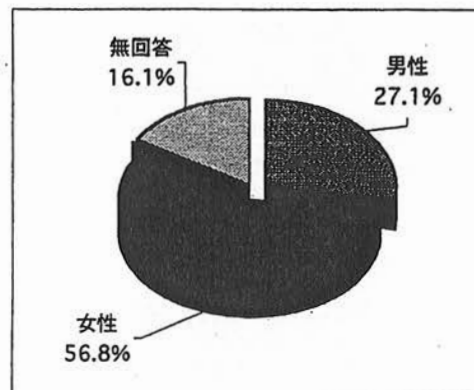
【回答者の属性（年齢）】

年齢	回答数	割合
9歳以下	5	2.5%
10代	19	9.5%
20代	20	10.1%
30代	31	15.6%
40代	29	14.6%
50代	42	21.1%
60代	29	14.6%
70代	13	6.5%
80歳以上	1	0.5%
上記以外の回答	0	0.0%
回答無	10	5.0%



【回答者の属性（性別）】

性別	回答数	割合
男性	54	27.1%
女性	113	56.8%
上記以外の回答	0	0.0%
無回答	32	16.1%



回答結果の集計

- ①8020運動とは、「80歳で20本以上、自分の歯を残そう」という運動のことだと思っている。

	回答数
はい	183
いいえ	16
上記以外の回答	0
無回答	0

正解率
92.0%

- ②歯がなくなる原因と歯周病とは無関係だと思っている。

	回答数
はい	26
いいえ	172
上記以外の回答	0
無回答	1

正解率
86.4%

- ③あなたが好んで食べる食べ物は次の2つのどちらですか？

	回答数
a 柔らかい食べ物	55
b 噛み応えのある食べ物	142
上記以外の回答	1
無回答	1

正解率
71.4%

- ④あなたが、普段の食事でご飯を噛む回数はどれくらいですか？

	回答数
0~4	10
5~9	31
10~14	53
15~19	24
20~	68
上記以外の回答	0
無回答	13

正解率
34.2%

- ⑤食べ物の好き嫌いは多い方ですか？

	回答数
はい	28
いいえ	171
上記以外の回答	0
無回答	0

正解率
85.9%

- ⑥寝る前には必ず歯を磨きますか？

	回答数
はい	167
いいえ	28
上記以外の回答	3
無回答	1

正解率
83.9%

- ⑦歯ブラシ以外にも歯間ブラシやフロスなども使っていますか？

	回答数
はい	120
いいえ	77
上記以外の回答	2
無回答	0

正解率
60.3%

- ⑧前回、歯科健診を受けたのはどれくらい前ですか？

	回答数
3ヶ月以内	51
半年以内	31
1年以内	25
2年以上前	6
3年以上前	7
5年以上前	4
判別不能※	61
上記以外の回答	6
回答無	8

正解率
53.8%

- ⑨たばこは吸いますか？

	回答数
はい	23
いいえ	176
上記以外の回答	0
無回答	0

正解率
88.4%

- ⑩いつも口の中が乾いた感じがしますか？

	回答数
はい	28
いいえ	167
上記以外の回答	4
無回答	0

正解率
83.9%

歯の健康のためにしていることは何ですか？

・ はみがきと定期チェック	・ 食後かならず洗う	・ 歯みがきを3回
・ フロス	・ 歯みがき	・ 歯みがき
・ 食事の後すぐうがい	・ 食後の歯みがき	・ 歯みがき
・ 朝、晩2回歯をみがく。ガムはキシリトール	・ はみがき	・ 朝・夕歯みがき
・ 歯ブラシを選ぶ	・ 朝、晩の歯みがきをする	・ 定期健診に1ヶ月に1回行く
・ ブラッシング (10分間)	・ 歯みがき	・ 歯みがき
・ なるべく定期的に健診を受け、チェック	・ 朝、夜のはみがき	・ 食後にすぐ歯をみがく事
・ してもらおう。はみがき	・ 歯間ブラシ使用	・ 歯ブラシ
・ ガムをかむ	・ 現在行っている	・ 毎日食後の歯ブラシ
・ シカンブラシ	・ 歯みがき	・ 歯みがき
・ リステリンを毎日つかう	・ あります。	・ 矯正/歯みがき
・ 歯ミガキ	・ 歯みがき	・ 歯みがき
・ ブラッシングをていねいにしている	・ 1日1回特に夜はよくていねいにみがく	・ 歯ぐきもマッサージする様やさしくみがく
・ ブラッシング、デンタルリンス	・ ハミガキくらい	・ 歯ぐきのふらし
・ 朝晩歯ミガキ、キシリトールガム	・ 歯みがきの他に歯肉のブラッシング	・ 歯間ブラシ
・ 電動ハブラシでしっかりみがくこと、	・ 食後の歯みがき	・ 食事後の歯みがき
糸ようじ	・ 食べた後必ずみがく	・ 歯みがき
・ はみがき	・ 毎食後歯みがき	・ 歯のみがき方にきをつけている
・ 歯みがき	・ ハミガキ	・ 歯みがき
・ 食後はよくみがく	・ よく歯をみがくこと	・ 朝・夕歯をみがく
・ 固いものを食べる、歯をみがくとき歯ぐ	・ 歯みがき	・ 歯みがき
きもみがく	・ 食べた後、すぐ歯をみがく	・ 歯みがき
・ 歯みがき？	・ 歯みがき	・ ウルトラフロス
・ 朝晩のハミガキ	・ 歯みがき	・ ハブラシを小・中・大と使い分けている
・ 薬用の高い歯みがき粉を使っている、	・ 毎日、朝・昼・夜歯をみがく。それも1回	1日1回は時間をかける様にしている
歯ぐきをマッサージしている	・ 10分位かけて	・ 毎日の歯磨き
・ 食後は歯かんブラシ、歯みがきやっている	・ 歯みがき程度	・ キシリトールガム
・ 歯みがき	・ みがき	・ よく歯を磨く
・ 歯みがきを良くする	・ 歯みがきを丁寧にすること	・ ブラッシング
・ 検診	・ 食後の歯みがき、ガム	・ 食後の歯磨き
・ 染色剤を使って、みがきのこしをへらす	・ 歯みがき	・ 食事の後必ず磨く
・ 食後よくみがく事	・ まめな歯みがき	・ 寝る前に必ず磨く
・ はみがき、歯にやさしいガム	・ フロス	・ ていねいにみがく
・ はみがき、15分	・ 毎食後歯みがき	・ 固いものを食べる
・ 歯磨き	・ 歯みがき	・ 歯間ブラシorフロスを使う
・ 歯間ブラシの使用	・ 1日3回磨く	・ 時間をかけて磨く
・ よくみがく、ウォーターの機器を使う	・ 歯みがき、食後みがく、歯間ブラシ	・ ガムをかむ 3回歯を磨く
・ なし 歯みがき	・ でんどうはふらし	・ 歯磨き (フッ素入り歯磨き粉) 糸ようじ
・ 歯磨き、フロス	・ はみがき	・ はみがき
・ 朝、晩のブラッシング	・ ハブラシ	・ 歯磨き
・ みがき	・ 歯みがき	・ 食後の歯磨き
・ 歯みがき	・ 歯みがき	・ 食後の歯磨きと歯間ブラシの使用
・ 歯みがき	・ 毎日朝食後と就寝前のハミガキ	・ 食後の歯磨き、フロス
・ 半年ごとに定期健診・フロスを使って	・ デンタルフロス、3回 (食後) の歯みがき	・ 定期診断
染め出しチェック	・ 歯みがき	・ まめな歯磨き
・ 歯みがきのみ	・ 糸ようじを使う。食べたら即みがく	・ 行おうと思ってるだけで実行していない
・ 歯をみがく	・ 電動歯ブラシ買いました。	・ ガム (キシリドント) 食後に
・ 歯みがき	・ ブラッシング	・ 歯茎のブラッシング
・ 歯磨き	・ 歯みがき、歯石チェック	・ じっくり時間をかけた歯ブラシ
・ 歯みがき	・ ハミガキ	・ 毎朝の歯磨き
・ はみがき	・ シカンブラシを夕食後にしている	・ 歯茎のブラッシング
・ 食べた後歯を必ず磨く	・ 食後の歯みがき	・ とにかくよくみがく
・ みがき方を気を付けて食べたらずみがく	・ 食後のはみがき	・ 歯磨き
・ 歯みがき	・ “たまに” 垢でみがく	・ 歯を良く磨く
・ 歯間ブラシを1日1回使ってる	・ 朝・昼・眠前のはみがき	・ 歯間ブラシ、歯磨き
・ 食べたらずみがく	・ 毎日歯ぐきマッサージ	・ 食べたらず磨く
・ はみがき	・ 歯みがきをこまめにすること	・ 朝夜歯磨き
・ 毎食ごとの歯磨き	・ 歯茎のマッサージ	・ 歯を良く磨くこと
・ 手がみで見ながらのハブラシ	・ 音波歯ブラシで磨いている	・ 歯槽膿漏のためブラッシングを良くして
・ 歯磨き	・ 歯みがき、糸ようじ	います
・ 歯をよくみがく	・ 歯間の歯みがき、歯こうを取るような歯	・ ウォーキング
・ 歯みがき	みがき	・ 歯ブラシを夜する
・ 歯みがき	・ 毎日の歯みがき	・ 歯磨きの時間を長く取る
・ キシリトールガム	・ 毎日歯をみがく、かみ合わせのよい物を	・ 歯茎のマッサージ、歯間ブラシや糸で
・ はみがき	食べる	のケア
・ 歯をきちんとみがく	・ 食後に歯をみがく	・ 歯磨き
・ 歯みがき	・ 歯磨以外とくにやっていない	・ 歯磨きを1回3分やる
・ 朝晩みがく	・ ブラッシング、歯間ブラシ使用	・ ブラッシング
・ 食後にGUM	・ 歯をみがく事	・ 歯間ブラシ 歯磨き
・ 朝食・夕食後のはみがき。歯間ブラシ使用	・ ブラッシング	・ 歯磨き
・ 歯肉磨きをたまに	・ デンタルフロスを使う	・ 歯を良く磨く、ていねいに

歯の健康のためにしていることは何ですか？

・ はみがき	・ 毎食後の歯みがき	・ 食後のブラッシング
・ 毎食後の歯みがき	・ 月2回健診している	・ 時間をかけて念入りに歯磨きをする
・ 糸ようじ	・ 歯みがき	・ 歯磨きぐらいです
・ 歯みがき	・ 電動ブラシを使用	・ 食後すぐ
・ 食後の歯みがき	・ 歯石とり	・ 食後の歯磨き
・ 食べたら歯をみがく(3食)	・ 固いものを食べる！！	・ 歯ブラシの定期交換
・ はみがきこにフッ素がはいっている。	・ 毎食後に歯みがき	・ 歯茎の健康
・ キシリトール系のガム	・ 毎日歯磨きのれいこう	・ はみがき
・ 歯磨きは入浴時に、時間をかけて(10分位)磨く。歯間ようじで歯のスキ間を清掃している。カルシウム(牛乳、小魚)を積極的にとる。	・ 糸ようじを特に時間をかけて、1日3回みがくこと	・ 歯磨き よくかむ
・ 歯磨きを欠かさない	・ はみがき	・ 歯磨き
・ 毎食後歯みがき	・ 歯ぐきみがき(マッサージ)	・ ブラッシング
・ 現在良の為していない	・ カルシウムを多くとる様心がけている	・ 食べたらず磨く できなければ、キシリッシュガムをかむか店販のうがい液でうがいをする
・ 歯みがきをやっている。	・ 15分ブラッシング	・ すすぎ歯磨き
・ 就寝前に歯みがきをする	・ フッ素を塗る	・ ブラッシングを良くする
・ 歯を良く磨く	・ フッ素入り歯磨きこを使用	・ フロス
・ ブラッシング	・ 歯みがき、二回	・ マッサージ
・ 食後すぐ歯みがきをする	・ 歯ぐきの健康マッサージ	・ 歯間ブラシなどを使う
・ ハミガキ	・ はみがき3回/日	・ たまに
・ ていねいにみがく	・ 歯間ブラシ	・ 定期的に行っています
・ 歯みがき	・ 歯茎を強くするため塩で磨いている	・ 1日3回の歯磨き
・ 歯ブラシをかえて2度みがくようにしている	・ 食後の歯磨きの徹底	・ 歯間ブラシ
・ 歯間ブラシを使用	・ 歯磨きの励行	・ 歯磨き
・ うがい。デンタルフロス	・ リストリンを使う	・ 歯ブラシ
・ 歯間ブラシ使用、うがい(DAM)	・ 歯磨き	・ 定期健診 毎日の歯磨き
・ 歯間ブラシ使用している	・ ブラッシング(歯間)に気をつけている	・ ていねいにみがく
・ 良くみがく	・ 糸ようじ 朝・昼・晩歯を磨く	・ ブラッシング
・ 定期健診6ヵ月に1回	・ 朝晩歯磨きと歯間ブラシを使う	・ 毎日の歯間そうじ。はぐきのチェック
・ 毎日2回みがく	・ 毎食後に歯磨きするようにしています	・ 検診
・ 歯みがき、歯間ブラシ	・ 歯磨き	・ 毎日朝、夜の歯磨きと歯間ブラシで磨く
・ 歯みがき	・ 歯磨きを良くする	・ 毎日朝・夕の歯磨き
・ 歯周病予防	・ 食後すぐ食べかすをとる	・ 定期受診1回/年
・ 歯間ブラシ	・ 意識して磨いている 糸ようじ	・ 強く磨きすぎない
・ 毎日、朝、夜の歯みがき、10分。歯の薬でう	・ 食後にやさしく歯磨きをしている	・ ブラッシング
・ キシリトールガム	・ はみがき	・ たまーに糸ようじをしてるくらい
・ 歯みがきをできるだけいねいにやるように	・ 3食後の歯磨き 夜は特に念入り！！	・ デンタルリンスやキシリトール&フッ素で予防
・ 食べたらず歯をみがく	・ 歯磨き	・ 定期健診と歯茎マッサージ
・ 時間をかけてのハミガキ	・ ブラッシング	・ がんばって歯を磨く
・ 歯みがき	・ 歯磨きを丁寧に特に歯肉を十分にやっています	・ 歯磨き・歯間ブラシ
・ 朝、晩2回歯みがき	・ カルシウムをとる	・ 歯磨き
・ シコウとり	・ 歯磨き 定期健診	・ きれいに磨く(歯間を特に)
・ モンダミン	・ ブラッシング 定期健診	・ 歯磨きを丁寧にします
・ 歯肉マッサージ	・ 歯磨きをきちんとする	・ 食後のブラッシング
・ 歯みがきの仕方	・ 毎食後歯を磨く	・ 食後の歯磨き
・ はみがき	・ 矯正	・ 歯をよくみがく
・ 歯みがき	・ おそうじ	・ 細かくすみずみまで良くみがく
・ 1日3回ハブラシ	・ はみがき	・ 歯みがき
・ フロス	・ 歯間ブラシでやっています	・ 毎日のハブラシ
・ フッジェル、フロス	・ よく磨く、3ヶ月ごとに見てもらう	・ 歯みがきとうがい薬
・ 歯間ブラシ	・ 歯のマッサージ	・ よくこまめにブラッシングとうがい
・ 歯をみがく	・ 寝る前の歯磨きは丁寧にします。歯間ブラシを活用する	・ 散歩
・ やさしく、細かく、みがく	・ 歯磨き	・ 歯みがき
・ よく歯をみがくこと。はぐきマッサージ	・ 歯磨き	・ 毎食後歯みがき
・ 食後の歯みがき	・ 一日3回3分以上	・ 歯みがき
・ しそうのうろう	・ 丁寧に歯を磨く	・ 食後すぐに歯をみがく
・ 食事、カルシウム	・ 定期健診に行く	・ 歯をよくみがく事
・ よく歯をみがいている	・ 歯磨き	・ 歯みがき
・ はみがき	・ 歯磨き	・ しっかりみがく事
・ はみがき	・ 歯磨き	・ 毎日朝・夕みがく
・ 正しくみがく	・ 丁寧なブラッシング	・ 歯みがき
・ 歯みがき	・ 歯磨き	・ 朝晩の歯みがきを丁寧にしている
・ 食後、就寝前の歯みがき、毎日一本牛乳を飲む	・ 食後の歯磨き	・ 口内清浄液でうがい
・ 定期チェック	・ 歯磨きだけ	・ 歯みがき(歯垢チェック)
・ 正しくみがく	・ 朝・夜歯磨き	・ 食事の後の歯みがき/糸ようじの使用
・ 歯みがき	・ 歯間ブラシ、ウォーターピック、	・ 徹底的な歯みがき
・ ハブラッシング	・ リステリン	・ 常に歯ブラシ(1日食後に3回)
・ 歯みがき	・ 歯ブラシのブラッシング	・ マッサージ
	・ 歯を良く磨く	・ 食後のあと歯みがき！
		・ 歯肉マッサージ

歯の健康のためにしていることは何ですか？

・ブラッシング	・長く磨く	・キシリトールガムをかむ
・毎日の歯みがき	・歯磨きを20分間位する	・食後は必ずみがく(3分)
・ハブラシ	・歯ブラシ	・歯みがきを教わった通りに行う
・しっかりみがく様に	・普通の歯ブラシのあとでようじはブラシ	・歯みがき
・歯磨き	・でマッサージ	・超音波のハブラシを使用
・歯間ブラシを使う	・歯ブラシでマッサージをする	・歯みがき
・食べたらみがく	・歯茎のマッサージ	・歯ブラシ、糸ようじでみがく
・歯みがき	・歯ブラシのとき、時間を気をつけて磨く	・3ヶ月に1回の検診
・ほそい糸ハブラシで取っている	・歯磨きをしっかりとる	・歯間ブラシでよくみがく
・よくかむ	・丁寧なブラッシング、フロスの使用、	・うがい
・歯ぐきのマッサージ	・食後すぐ磨くこと	・1日3回みがく
・歯みがき	・歯磨き スケーリング	・食後、毎回歯みがき
・食事終了後歯みがき	・定期健診、はみがき	・歯間ブラシ・糸ようじ使用
・歯みがき 歯間ブラシ	・歯磨き	・歯みがき
・はみがき	・歯磨き	・歯みがき、歯ブラシなどに気を使う
・毎日2回の歯みがき	・歯磨き一日三回	・朝・晩歯みがき
・歯みがき	・ブラッシング	・ブラッシングを丁寧に
・歯みがきのみ	・ブラッシング	・はみがき
・歯みがき	・歯磨き	・インジンの歯のうがい
・歯みがき	・歯磨きを丁寧に、3食食べた後必ず	・寝る前の歯みがき
・歯みがき後の歯間ブラシ	・口の中をゆすぐ	・朝、夜の歯みがき/食後のガム
・歯が良くないので一年中かかっていると 安心だからみがき方や色々指導してもら	・朝の歯磨きのみ	・歯みがき
・夜の歯みがき	・フッ素	・ブラッシング
・よく歯をみがく	・定期健診	・歯間ブラシ
・特にありません	・一日二回歯を磨いている	・歯間ブラシと歯みがき合わせて10分以上
・食後の歯みがき	・はみがき	・歯みがき・糸ようじ
・キシリトールガム	・歯磨き	・歯みがき
・3分間の歯みがき	・歯石取り	・歯みがき
・毎食後みがく	・毎日3回歯磨きする	・糸ようじ
・歯間ブラシ	・歯磨き	・定期的に歯石を取っている
・手づくりはみがきこでのんびりブラッ シング	・よく磨く	・歯みがき
・歯ブラシ食後30分後必ず	・歯磨き	・歯みがきえらび
・食後すぐにみがく	・食後の歯磨き	・歯間ブラシ・糸ようじ
・よく歯をみがく	・食後の歯磨き	・歯石取り
・べつになし	・ブラッシング	・まめな歯みがき
・特にしていない	・毎日の歯ブラシ	・食事の後の歯みがきの徹底
・歯みがき、カルシウムをとる	・よく歯を磨く	・歯みがき・デンタルフロス
・食後のハミガキ 牛乳を飲む	・歯を磨く	・歯をみがく
・食べたらみがく	・キシリトール100%ガム	・歯をみがく
・歯みがき	・歯磨き	・歯をきれいにみがく
・歯をみがく	・歯磨きを丁寧に1	・食後にキシリトールガムを食べる
・はみがき	・しこうを年1回とる	・良くみがく
・食後のブラシ1日3回	・歯間ブラシ 糸ようじ	・歯ぐき、舌もみがく
・歯石取り	・食後の歯磨き	・塩で歯ぐきをマッサージしている
・ハミガキ	・2年に1回健診	・食後みがく
・歯石取り	・歯磨き	・歯みがき
・朝・夜みがく(特に夜はていねいに)	・食べたあとくちすすぎ	・歯ブラシ
・歯間そうじ	・歯間ブラシを使っている	・歯みがき
・ハミガキ	・毎日きちんと磨く(はぐきもみがくよう にしている)	・毎日の歯みがき
・良くみがく	・キシリトールガムをかむ	・昼もみがく事とうがい
・キシリトールガムと毎日歯みがき	・3分以上磨く	・フロスを使って丁寧に
・糸ようじ	・1ヶ月1回歯石取り	・常に歯みがきをする
・歯と歯の間に歯かんブラシを何か糸よう じで使用する時もあります。	・歯茎のいたみ	・歯みがき
・ブラシを変えてブラッシング	・よく磨く	・毎日歯をみがく
・歯間ブラシ、歯ブラシ、歯ぐきもソフト にみがく	・デンタルフロス 歯間ブラシ	・食後の歯みがき
・はみがき 糸ようじ	・歯間ブラシなどで	・1日1~2回は絶対に磨くこと
・歯みがきを毎食後する位	・歯磨き	・毎日の歯みがき
・食後の歯みがき	・歯間ブラシを使用する 歯茎を良く磨く (あまり強くしないで)	・朝・夕歯みがき
・歯医者者の友人からの指導	・糸ようじ	・歯磨き
・はみがき	・歯間ブラシの使用	・歯みがき/歯間ブラシ/フッ素
・歯みがき	・食べたらみがく	・半年に1回位
・キシリガム・ブラッシング (ソニックアー使用)	・定期健診	・カルシウムをとること/歯みがきをきちん とすること
・デンタルフロスを夜使用するようにして いる	・朝・就寝前	・歯みがき/フロスで歯間ブラシ
・歯みがきの後、歯垢をとる様にしている	・歯みがき	・歯磨き
・歯ブラシをみがく	・夜必ず歯をみがく	・Caをとる
	・毎日1日3回の歯みがき	・食事の後歯を磨いている
	・歯みがき	・歯磨き
	・ハミガキ	・歯磨き
	・フッ素入り歯みがき粉を使っています	・食べたらず歯を磨く、できないとうがい
		・食後3分以内のブラッシング

歯の健康のためにしていることは何ですか？

・ 毎食後のブラシ	・ 朝晩歯みがき	・ 歯磨きの際に歯を見る
・ 歯みがき	・ 歯磨きに時間をかけてかかさずやる。	・ ブラッシング
・ ハブラシ	・ 歯みがきと歯科でのクリーニング	・ 歯間ブラシ
・ 歯間ブラシ	・ 毎食後の歯みがき	・ 歯間ブラシ・糸ようじ
・ あまい物はひかえてる	・ 歯みがきを食べたらできるだけしている	・ 歯みがきを徹底する
・ 歯みがき、歯間ブラシ	・ 歯みがき。	・ 歯みがき
・ 歯グキの指マッサージ	・ 食後にみがく	・ 歯石除去
・ 食後の歯みがき	・ はみがきに時間をかけること。	・ 良く歯をみがく
・ 歯槽膿漏防止にハミガキ粉、ハブラシ等に気がつかっている	・ 歯みがき	・ 歯を磨く
・ 歯みがき	・ はみがき	・ 1日2回ブラッシング及び3ヶ月に1回の定期健診
・ ブラッシングをよくする	・ 歯石を取るようになっている	・ ウォーキング
・ 一日3回ハミガキ	・ ブラッシング	・ 定期的な健診
・ 毎日朝晩みがいている	・ 朝晩しっかりみがく、フロスを使う	・ 歯みがき
・ 歯みがき(みがき方がちょっとわるいので)	・ 歯ブラシ、歯間ブラシ	・ 歯みがき
・ 電動ハブラシ	・ 歯間ブラシをつかって歯こうを取っている	・ 歯みがき
・ 朝晩の歯みがき	・ 良くブラッシングする	・ 歯みがき
・ 歯ぐきまでブラッシングしてマッサージする	・ 食後のハミガキ	・ 固いものを食べる
・ ゆっくりよくみがく	・ 歯みがき	・ 食事後、必ず歯みがきをすぐに行う
・ 定期的に検診にしている	・ 歯みがき	・ 夜に歯間ブラシを用いている
・ 歯みがき、うがい	・ デンタルフロス	・ 歯間ブラシを使っている
・ 歯ミガキ	・ 歯と歯の間のよごれを取る	・ 定期健診と歯みがき
・ 毎日のブラッシング	・ 一日毎食後3回みがく	・ 1日2回の歯みがき
・ デンタルリンス、フロス	・ 今行って居ります	・ 歯みがき
・ とまどき歯みがき	・ 毎日の歯みがき	・ 歯ブラシ
・ ハミガキ	・ はみがき	・ 歯間ブラシ/電動ハブラシ
・ 歯みがき、糸ようじ	・ 毎食後すぐみがく	・ 歯みがき
・ こまめな歯みがき	・ はみがき、かがみでチェック	・ 歯みがき
・ 甘い物を食べない。歯みがき	・ ハミガキをする	・ 歯みがき
・ はみがき	・ 食後必ずみがく	・ 食後の歯みがき
・ うがい、歯間ブラシ	・ ハミガキ	・ すぐ食べたら口をゆすぐ
・ 歯ぐきのブラッシング	・ 歯ミガキしている。	・ キシリトールガム
・ 朝晩の歯みがき	・ 歯ブラシ、フロス	・ 歯みがきをしっかり
・ 歯みがき(フロス、歯間ブラシ)	・ しせきとり	・ フロス
・ 糸ようじ、歯間ブラシ	・ 年1回	・ 食後のブラッシング
・ 毎食毎の歯みがき	・ 特になし	・ ブラークコントロール
・ 食後歯みがきをする	・ 出来るだけ3食後に歯を磨く	・ 歯の調整のため通院中
・ 毎日、毎晩みがく	・ シセキ取り	・ 歯みがき/歯石除去
・ 歯間ブラシ	・ ハミガキ、うがい	・ イソジンで歯グキを清潔に
・ 歯みがきしっかり	・ 歯みがき	・ 食後の歯みがき
・ 歯石除去	・ タバコをやめた	・ 歯間ブラシ
・ 栄養バランスのとれた食事。ていねいなブラッシング。	・ ハミガキ	・ 歯みがき/うがい
・ ブラッシング	・ 糸ようじ	・ 食後の歯みがき
・ 良くみがくこと	・ 毎日歯みがき	・ 最低1日3回歯みがき
・ 電動歯ミガキ	・ 歯みがき	・ 歯みがき
・ 歯磨	・ すみずみまで磨くように心がけている	・ 1年1回の定期検査
・ 食後すぐみがく。いつもハブラシを持ち歩いている。	・ 時間をかけてみがく	・ ブラッシング
・ 歯みがき	・ 歯みがき	・ 歯みがき
・ 食後の歯間ブラシ	・ 歯みがき	・ フロスの使用
・ 歯みがき	・ 歯肉マッサージ	・ 食事後の歯みがきの励行
・ 歯ぐきを含めた丁寧なブラッシング	・ 食べたらみがく	・ 歯みがき
・ フロス	・ はみがき	・ 時間をかけてハミガキ
・ 朝・昼・夜食後に行う	・ よくみがく	・ ブラッシング
・ 歯みがきのみ	・ 歯みがきをしっかりと行う	・ 食べたら3分以内にみがく・1日4回(朝と食後)みがいている
・ 歯みがき	・ ブラシ、しゃんブラシ、糸ようじを使って歯に気がつけている	・ 朝晩歯みがきをする事/根菜をなるべく食べる
・ 1日歯みがき3回激行(食後)	・ 毎食後のハミガキ、歯間ブラシとフロス	・ 歯みがき
・ 食後の歯みがき	・ 食後のハブラシ、フロス、コンクールなど使用	・ 歯をみがく
・ 毎食後歯をみがく	・ 毎食後の簡単な歯みがきの励行	・ 歯みがきをすこー長く
・ 歯みがき	・ 電動ハブラシ	・ 歯間ブラシを毎食後やる
・ ブラッシング	・ マイナスイオンハブラシ使用	・ 歯みがき
・ 糸ようじ	・ 歯みがきをていねいに	・ 歯周病の予防になた豆茶でうがいをしている
・ 朝晩歯みがき	・ 毎日の歯みがき	・ 歯間ブラシ
・ ブラークコントロール	・ チェック	・ 食後のハブラシ
・ 歯みがき	・ 歯みがき	・ 磨く回数と丁寧に磨く
・ 歯みがき	・ 歯みがき	・ 歯周病予防
・ 念入りの歯みがき	・ 毎日歯をみがく	・ 丁寧に磨くこと
・ 食後すぐみがく	・ ブラッシング	・ 歯みがき
・ 食後にきちんと歯をみがく	・ 歯を良くみがく	・ スミハミガキ粉
	・ 食後磨く	・ 食後の歯みがき
	・ 歯間ブラシ	

歯の健康のためにしていることは何ですか？

・ ブラッシング	・ 歯みがき	・ 歯みがき
・ 歯間ブラシ・電動ハブラシ	・ ブラッシングの研究	・ 食後の歯みがき
・ 食事の後すぐうがい	・ ブラッシングを丁寧にする	・ フロスを使っている
・ 歯みがき	・ 歯磨き (毎食後)	・ とにかくブラッシングを念入りに
・ 歯みがき	・ なるべく時間をかけてみがく	・ 歯みがきは1日2回/食後の後水を飲む
・ 歯みがき	・ 定期的 (1年) ごと	・ 歯みがきをこまめに
・ 食べたら歯をみがく	・ 歯みがき デジタル・リンス	・ 朝晩の歯みがき
・ まめな歯みがき	・ ブラッシング	・ なるべくしっかり磨く
・ 食後のブラッシングとうがい	・ 歯みがきを定期的に/良くブラッシングす	・ 毎日の歯みがき
・ ブラッシング	る事	・ 毎食後みがいている
・ キシリトールガムを食べる/甘いものを食べた水飲む	・ 禁煙	・ ブラッシング。力を入れずに正しくみがくこと
・ 良くみがく	・ 歯みがき	・ デンタルフロスを使う
・ 歯みがき	・ 朝晩歯みがき	・ 歯間ブラシをする
・ 丁寧なブラッシング	・ 歯みがきに気をつけている	・ 歯みがき
・ 歯みがき	・ 風邪引いて神経が痛んで	・ 歯みがき
・ 毎日みがいている	・ 定期的に健診をうける	・ キシリトール/歯みがき
・ 歯をよくみがく	・ 歯をよくみがく事	・ 歯みがき
・ 朝、夕の歯みがき	・ 歯みがき	・ 歯みがき粉を使わない
・ 毎日の歯みがき	・ 朝・夕の歯みがき	・ 毎日の歯みがき/フロス
・ 歯みがき	・ 奥歯をよくみがく	・ 歯間ブラシを朝・夕に使っている
・ 食べたあとの歯みがき	・ 歯みがき	・ 歯間ブラシ
・ 歯みがき	・ ブラッシング	・ 食後の歯みがき
・ 食後によくみがく	・ 定期的 (1年) ごと	・ 食後の歯みがき(みがけない時はうがいのみ)
・ みがく	・ 食事の後は必ずみがく	・ 歯みがき
・ キシリトールガムを噛んでいる	・ 糸ようじを使っている	・ ブラッシング
・ 良くみがく	・ 歯科健診/日ごろの歯みがき	・ 歯みがき
・ 歯ぐきのマッサージ	・ 塩で歯みがき	
・ 歯みがき	・ 歯間ブラシ	

●あなたが気づいたことは？

- 寒くてじっとしてられなかった。とにかく、アンケートを書いてプレゼントをもらっていく方が多かった！枚数ざっと 1400 枚くらいありました。8020 チェックは 160 枚くらい、街頭インタビューも多くの方が協力してくださいましたね。
- 意外と、歯に関心をお持ちの方が多。検診も、思ったより受けておられるようでした。特に年配の方は、検診を受けておられるようでした。(その中でも、女性の方々)
- 意外と歯科に対する関心が高いと感じた。特に高齢の方が多くアンケートに参加してくれていたように思う。高齢の方は歯を失ったりした結果として歯の大切さを感じているのかも知れません。また、定期的にチェックをしている方が積極的にアンケートを受けていたようにも思えました。保健所や健康フェアの健診でもそうなのですが、こんなに口の中がきれいな人は来なくても良いのにとと思う人ほどこのようなイベントには参加しますよね。関心の無い人に関心を持ってもらえるのが大切だと思います。時間のかかることだと思っています。
- 予想以上に、ブース来場者があったこと。皆さん、歯への関心は潜在的にあるものなんだなあと思いました。「歯医者さん＝治療」というイメージが定着しており、中には「え!? 健診のために歯医者さんに行ってもいいの?」という人もいました。「身近な機会」で「わかりやすく」「実感できる」ようなPRをもっともってしていく必要があると思いました。
- 景品の威力は絶大！これだけの人を集められたのは、やはり景品の力が大きかったです。やり方をもっと工夫すれば、市民ニーズの調査から企業のマーケティングにも応用できると思います。これを一つの実績にして、今後は企業から更なる支援（試供品提供、人員派遣など）を引き出せると思います。
- 結構歯科に関心があるんだなあ。歯科も捨てたもんじゃないな。
- 歯に関心ある方が以外と多いようだ。(特に年寄りと呼ばれる方々)
- 人々の関心ニーズを捉えた内容の良いイベントは多くの人を集められるものである。

●あなたがうれしく思ったことは？

- 「歯医者さんだよ」と話しながら通っていく方が大勢いたこと。自分の体を治してくれるお医者さんの存在ってやっぱり大切なんだなーと思いました。
- アンケートに答えてくださる方が多くて、嬉しい、ビックリでした。(景品様様の感もあり..)
- まずはプロジェクトの皆さんが協力的で楽しくイベントを終えることが出来た事に感謝します。フロスやリステリン(うがい薬)も結構多くの方が知っていて、使用していたこと。8020クイズの結果が高点数の方が多かったこと。あれだけ多くのアン

はーもにープロジェクト in 食の陣 (2/7.8) ふりかえり

ケートに答えて頂いたこと。

- とにかく、盛況だったこと。やる前は、「もし、アンケート用紙が無くなるくらい来場者があつたら、嬉しい悲鳴をあげましょう！心配しすぎても、捕らぬ狸の・・・になりかねませんから・・・」と言っていたのに、本当に嬉しい悲鳴をあげるようになるとは、思いませんでした。
- 現場にでることの大切さを認識してもらったこと。歯科医師の先生方に「現場に出ることの大切さ」「まずはやってみることで色々なことがわかってくる」を実感していただけたのではないかと思います。
- 想像していた以上に人が立ち寄ってくれた。アンケート用紙プレゼントがほとんど品切れ状態になったこと。(前日まではたくさんあまったらどうしようかすごく不安でした)
- アンケートをお願いした時、快く引き受けて頂いた事。

●あなたが残念に思ったことは？

- 相談や体験は全然できなかったことが残念でした。7日の様子はいかがでしたか？
- 主旨が伝わっていたかと言われると・・・考えてしまいます。アンケートをお渡しする時に、少し会話するように心がければよかった。アンケートの数にとらわれすぎたかな・・・前日の情報から、とにかく、さばかなければという頭になってしまっていた。
- アンケートを取るのに忙しすぎて、8020クイズや歯科相談を多くの方に出来なかったこと。そのため、直接お話ししながら意見を聞けなかったこと。(このイベントでは難しいですが) 皆さん無料でケアグッズがもらえるので参加してくれているのかなあと途中で感じてしまった自分。
- 来場者とのコミュニケーションの機会が足りなかった。サンプル数を多く集めることは良いのですが、もう少し来場者とのコミュニケーションが取れる機会をつくった方が良かったと思いました。
- ブースレイアウトがイマイチだった。事前に、ブースの場所・周囲の雰囲気などを、きちんと調べておくべきでした。やはり、このあたりはもっと丁寧にしないとダメですね。反省です。
- 鍋などいろいろ食べられなかったこと。
- 雪の吹きすさぶ会場となった事。会場の設営を工夫してでも、相談コーナーを設けられたら良かったのにと残念。
- やはり最後は皆さん全員ときっちりエイエイオー！ち終われなかったのが残念。

●その他

- おつかれさまでした。
- 歯医者さんと直接お話ができると思っておられた方が、何名かおられました。ブースのスペースの問題もありましたが歯科医院以外での、コミュニケーションもうけると思いました。場の雰囲気が、コミュニケーションの取りやすさを、助けるといふこともあるのではないかと思います。普段、歯科医院でお話するよりも、おもしろい会話、相談などが出るかもしれませんね。
- このアンケートの集計は非常に大変だと思います。ご苦勞様です。お手数をおかけします。しかし、どのような結果が出るのか楽しみです。
- とにかく、初めての試みとしては大成功だったと思います。反省点は、次に活かす教訓となりますし。それと、実行委員会として一つのイベントを実施できたことが最大の収穫だと思います。歯科医師会、行政、NPOの協働事業としても、かなり意義のあった取り組みだったと思います。
- お疲れ様でした。
- 寒い中、本当にご苦勞様でした。特に、2日間出てくださった方、お疲れ様でした。皆様有難うございました。

JCメンバー健診（実験実施） &意見交換会



と き 平成16年2月16日（月）

午後7時半～9時

場 所 青年会議所

参加者 12名

プログラム

7：30 オリエンテーション・自己紹介
・プレアンケート

7：45 順次、お口の健康チェック
ポストアンケート

8：15 全体ワークショップ

9：00 ふりかえりシート記入
（懇親会）

青年会議所出張お口の健康チェック体験ワークショップ

平成 16 年 2 月 16 日 (月) 19:30~21:00

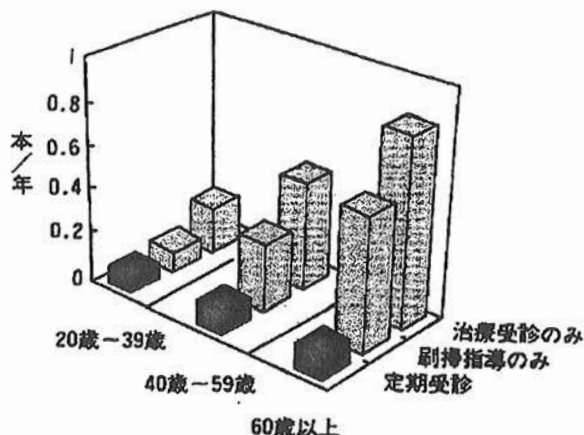
【本日の主旨】

自分の歯でおいしく食べることは健康に生きる上での基本であるとともに、高齢になってからも最大の生きがいの一つです。しかし、現状では、80歳で残っている歯の数は平均 8.21 本、歯が一本もない人の割合が 32.9% (20 歯以上ある人の割合は 15.3%) と多くの方が歯を失っています。

むし歯と歯周病を予防し、自分の歯を守るためには、歯医者で定期的にお口の中をチェックすること(歯科健診)が非常に大切です。

しかし、歯医者は痛い、怖いという先入観があるためか、定期的に歯科健診を受けている人は少ないのが現実です。新潟市では 40 才と 50 才を対象に成人歯科健診を実施していますが、受診率は 5.9% (平成 14 年度) とまだまだ低い状況にあります。

そこで今回、青年会議所のメンバーの方に、歯科健診を出張形式で体験して頂き、働き盛りの方達に、お口の健康の重要性とそれを守るための定期的な管理について、どんなお考えをお持ちか、どのようにしていったら良いのか、ご意見をお聞かせ頂きたいと思ひます。



【は～もに～プロジェクト実行委員会とは】

8020推進財団の支援を受け、新潟県の歯科保健医療関係者(新潟県歯科医師会、新潟市歯科医師会、県福祉保健部、新潟市保健所、新潟大学歯学部)と市民団体(新潟市青年会議所、NPO 法人まちづくり学校)が協働して、新潟の成人歯科保健の在り方を住民参加によって考えていくために発足した組織です。



【本日のスケジュール】

19:30~	オリエンテーション・自己紹介・プレアンケート記入
19:45~	順次、お口の健康チェック→ポストアンケート記入 待っている間に「問題分析カード」記入
20:15~	全体ワークショップ
21:00	「ふりかえりシート」を記入して終了(→懇親会でさらに意見交換)

お口の健康チェック体験 プレアンケート

お口の健康チェックをお受けになる前に、次の質問にお答え下さい。

1. あなたは自分のお口（歯や歯ぐき）が健康だと思いますか？
a.大変健康 b.まあ健康 c.やや不健康 d.大変不健康 e.わからない
2. あなたは80歳になっても20本以上自分の歯が残せると思いますか？
a.まず残せる b.多分残せる c.もしかすると残せる d.無理だと思う e.わからない
3. あなたはふだん自分のお口の健康に気をつけている方だと思いますか？
a.大いに思う b.やや思う c.あまり思わない d.思わない e.わからない
4. あなたが普段、お口の健康のために実践していることを教えてください。
a. とくにない
b. ある →

それはどんなことですか？具体的にご記入ください（いくつでも）。

5. あなたは今までにお口の問題でなやんだり、困ったりした経験がありますか？
c. とくにない
d. ある →

それはどんなことですか？具体的にご記入ください（いくつでも）。

6. あなたは今回の事業のことを聞く前に、「お口の健康を守るためには定期的な健診（チェック）が欠かせない」ということを知っていましたか？
a.よく知っていた b.聞いたことはあった c.知らなかった

お口の健康チェック体験 ポストアンケート

お疲れさまでした。お口の健康チェックを受けたあとで、次の質問にお答え下さい。

- あなたは今回のような歯医者さんによる健診（チェック）を受けたことがありますか？
 - 定期的を受けている → 間隔は？（ ）ごと
どこで？（ ）
 - 不定期だが受けたことがある → どこで？（ ）
延べ何回ぐらい？（ ）回位
 - 受けたことがない
- 今回体験してみて、歯医者さんや歯科健診（チェック）について、何か考え方が変わりましたか？
 - かわらなかった
 - 少し変わった →
 - 大変変わった →
 - わからない

それはどんな点ですか？具体的にご記入ください（いくつでも）。
- 今回のような健診（チェック）を受けるとしたらどんな形で受けていたいですか？
一番望ましいものに◎、次に望ましいものに○を付けてください。
 - かかりつけの歯科医院で個別に
 - 職場の集団健診の時に一緒に
 - 健診センターなどで他の検査と一緒に
 - その他（具体的に： ）
- 今回のような健診が行政のサービスとして行われ、費用の個人負担があるとしたら、いくらが適当だと思いますか？
 - 無料
 - 5,00 円以下
 - 501～1,000 円
 - 1,001～1,500 円
 - 1,501～2,000 円
 - 2,001～3,000 円
 - 3,001 円以上
- あなたは今後、ご自分でも定期的に歯科健診（チェック）を受けていこうと思いますか？
 - 必ず受ける
 - 出来るだけ受ける
 - チャンスがあれば受ける
 - 受けようとは思わない
 - わからない
- 今回の健診を含め、何か歯科に関してお気づきの点やご希望がありましたら、なんでもご遠慮なくご記入ください。

問題分析カードの記入について

あなたがご自分のお口の健康を守っていくために、
問題だと思ふこと、障害になっていることは何ですか？

次のレベル毎に考えて、思いついたことをポストイットに一つずつ書き出してください。
悩む必要はありません。インスピレーションで思いついたことを書いてください。
(最低、各レベルで2枚以上お願いします。)

○レベル1：ご自身や家庭を考えた場合（左上隅に「家庭」と記入）

○レベル2：職場を考えた場合（左上隅に「職場」と記入）

○レベル3：地域（行政や歯科医師を含む）を考えた場合（左上隅に「地域」と記入）

J C 成人歯科健診記録票集計 (対象者 12 名) 平成 16 年 2 月 16 日 (月) 実施
 受診時の問診結果

1. 現在歯や口の中の状態についてどのように感じていますか。

	ほぼ満足	やや不満だが日常困らない	不自由	合計
人数 (%)	1(8.3)	10(83.3)	1(8.3)	12(100)

1-2. 具体的にどのような症状がありますか。(複数回答)

	歯痛	出血	口臭	歯肉かゆい	歯肉腫脹	噛み難い	歯並び	顎関節	話し難い	その他	合計
人数 (%)	3(17.6)	1(5.9)	4(23.5)	0(0)	2(11.8)	1(5.9)	3(17.6)	1(5.9)	0(0)	2(11.8)	17(100)

その他の内容：親知らずが横になっている、歯肉がやせる、時々しみる

2. この 1 年間に歯科医院を受診しましたか。

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	7(58.3)	5(41.7)	12(100)

3. この 1 年間に歯科医院で歯石や歯の汚れを取ってもらったことがありますか。

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	5(41.7)	7(58.3)	12(100)

4. 歯科医院へはどのようなときに行きますか。(1つだけ○)

	定期的に行く	気になれば早め	症状があったら	症状あっても行かない	その他	合計
人数 (%)	1(8.3)	2(16.7)	8(66.7)	1(8.3)	0(0)	12(100)

5. この1年間に歯科健診を受けましたか。

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	2(16.7)	10(83.3)	12(100)

6. 歯と歯ぐきの境目を意識して磨くようにしていますか。

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	7(58.3)	5(41.7)	12(100)

7. むし歯や歯周病予防のために使用してますか。

ア. デンタルフロス

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	4(33.3)	8(66.7)	12(100)

イ. 歯間ブラシ

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	2(16.7)	10(83.3)	12(100)

ウ. フッ素洗口剤

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	2(16.7)	10(83.3)	12(100)

エ. 歯磨き剤

	はい	いいえ	無回答	合計
人数 (%)	9(75.0)	1(8.3)	2(16.7)	12(100)

エでハイのうちフッ素入り歯磨き剤を使用

	はい	いいえ	わからない	合計
人数 (%)	4(40.0)	2(20.0)	4(40.0)	10(100)

8. 歯科医院で次の指導を受けたことがありますか。

ア. 歯磨き

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	8(66.7)	4(33.3)	12(100)

イ. フロス

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	5(41.7)	7(58.3)	12(100)

ウ. 歯間ブラシ

	はい	いいえ	合計
人数 (%)	3(25.0)	9(75.0)	12(100)

9. 鏡を使って歯や歯ぐきの様子を観察している。

	週1回以上	月1回以上	ほとんどない	合計
人数 (%)	3(25.0)	0(0)	9(75.5)	12(100)

10. 現在, タバコを吸っていますか。

	吸っていない	時々吸う	毎日吸う	合計
人数 (%)	9(75.0)	0(0)	3(25.0)	12(100)

毎日吸う人の本数: 20本くらい (2名), 30本くらい (1名)

11. タバコが歯周病に与える影響についてどう思いますか。

	吸うとかかりやすくなる	どちらとも言えない	タバコと関係ない	合計
人数 (%)	6(50.0)	6(50.0)	0(0)	12(100)

健診結果集計

1. 歯周組織の状況 (CPI)

0 : 健全歯肉	2名 (16.7%)
1 : 歯肉出血	1名 (8.3%)
2 : 歯石	8名 (66.7%)
3 : 浅いポケット	1名 (8.3%)
4 : 深いポケット	0名 (0%)

2. 口腔清掃状態

良好	5名 (41.7%)
普通	6名 (50.0%)
不良	1名 (8.3%)

3. 判定区分

1 : 異常なし	3名 (25.0%)
2 : 要指導	1名 (8.3%)
3 : 要精査・要医療	8名 (66.7%)
a : 歯石除去	7名
b : 歯周治療	1名
c : う蝕治療	2名
d : 補綴治療	1名
e : その他	0名

- ・ 口腔内状態は満足, 日常困らない人が90%以上であるが, 健診により約70%の人が要精査・要治療であった. 補綴やう蝕治療は少なく, 多くが歯石除去に該当している.
- ・ 今回の対象者は年齢が30半ばであるため, 口腔内の状態は概ね良好であった.

親子体験学習プログラム の実験実施

と き 平成16年3月4日(木)
場 所 まなび屋(新潟市西地区公民館)

当日のプログラム

17:00~18:00

●まなびの時間参加
歯の大切さ
↓
パワーポイント
↓
お試し体験
○かみかみライス
○裂きイカ&ビスケット

参加児童 小1~小6 前半20名
後半20名
まなび屋大学生スタッフ各10名

対応：新大助教授
院生2名
NPOスタッフ2名

17:50~18:20

保護者インタビュー (5名)

19:15~20:15

●まなびの時間参加
歯の大切さ
↓
パワーポイント
↓
お試し体験
○かみかみライス
○裂きイカ&ビスケット

●歯科相談コーナー
参加者1名

対応：院生
助教授
NPOスタッフ

※同時進行

□まなび屋スタッフのふりかえり (当日の反省会にて)

- 普段奥手な子どもでも、熱心に聞き入っていた。
- 体験を伴った学習方法は有効である。
- こういった専門家と子どもたちが直接触れ合う機会をもっと持って欲しい。
- 学校教育の分野では伝えられないリアリティがあった。
- 公民館はこのような専門家を迎え入れる準備がある。
- これからもこのつながりを大切にしたい。

□WS担当者のふりかえり

- 歯科相談をして、いろいろな質問が出た。歯や口に関して話し合い(意見交換)をする場面が、現状では少ないことが理解できた。
- 子供は初対面だと特に難しい!
- 名前がわからないのが一番やりにくい。
- 関係づくりの大切さを実感した。
- 小学生の子供さんに話をするのは非常に難しい。なかなか思ったようにはいかなかった。

当日の様子



■見えてきたこと

専門教育を受けた学校の先生や、公民館などと協力して、新たな学習方法や学習の場を構築したり、学校の授業の中で少しでも継続して歯のことを学習できる仕掛けを考えていく必要性があるのではなかろうか。